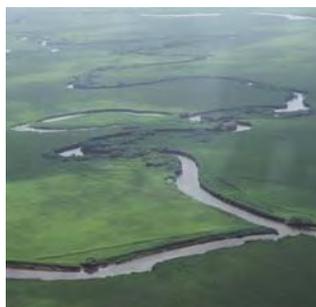


平成19年度
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ活動報告
Clear Stream Scenic Byway

0.地域活動報告の概要

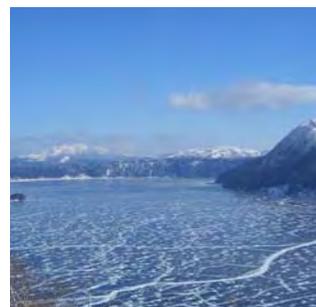
- 1.ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2.ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3.地域及び行政の運営に関する報告
- 4.審査委員会意見に関する報告



釧路湿原エリア



阿寒湖エリア



弟子屈エリア



中標津エリア

平成20年 3月31日

ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄
ルート運営行政連絡会議 議長 篠宮章浩

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ～Clear Stream Scenic Byway～)

[ルート名称] 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ			[報告者] ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄			[報告年月] 2008/3/31		
ルート運営計画基本方針			活動No			平成19年度 地域活動(総括)		
1 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	① まちを知る・人を知る	K U	-	5、6、7～19、14、21、22、27	<p>●地域の資源を知る・活かす取り組みでは、景観づくり検討会(景観診断)を2回開催し、「阿寒湖エリア」「弟子屈エリア」が新たに参画し、活動団体以外のカフェ従業員の方も交えた取り組みを行うことにつながった。また、活動団体以外の地域住民によるライター制度(ブログ)を試行的に行い、地域情報を収集する仕組みを構築することにもつながったルートHP・マガジン作成の取り組みなど、活動団体の枠を超えた地域のネットワークづくりや、景観・地域資源等の各分野でのまち(ルート)を知る・活かす取り組みを行った。</p> <p>●食を知る・活かす取り組みでは、主に各シーニックカフェを行い、食を活かすことを検討するためにカフェミーティングを実施した。また、一般参加者へ向けた取り組みとしてHPで「東北道料理レシピの募集」が行われた。特にシーニックカフェでは、今年から各エリアのおすすめ食材や料理を観光客に提供する取り組みをはじめ、これまでの中標津の“ミルク”や弟子屈での“エゾシカバーガー”のほか、阿寒湖エリアでの“レトロスター”などが登場し、各エリアの食材を活かしたメニュー開発と提供の取り組みが行われた。また、一般参加型HP企画として「ひがし北海道料理レシピの募集」も開始し、今年は6つのレシピが応募された。今後はこれらの取り組みを周知するとともに、ルートとしての食文化づくりに貢献する活動に向けた検討を行っていききたい。</p> <p>●文化や歴史を知る・活かす取り組みでは、昨年に引き続いての「懐かシーニックパネル展」を各エリアで計6回開催した。すべて地域の公共施設のロビー等で開催され、一般の方が立ち止まって見学しており、特に年配の方から好評を得た。しかし、昨年と同じ展示内容であったことから、マンネリ化とならないような新たな情報収集が求められるなか、今年の行政連絡会議内で弟子屈町から新たな写真提供があったなど、情報収集体制についても関係機関連携が始まったことが成果としてあげられる。次年度は団体のみの収集体制から、行政等の関係機関、他各地の歴史資料の収集家なども連携し、広域圏でのアーカイブ機能として確立していききたい。</p>		
		② 自然環境を知る・活かす	K U	-	26			
		③ 景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	K U	-	5、6			
		④ 温泉を知る・活かす	K U	-	10、11、14			
		⑤ 体験活動を知る・活かす	K U	-	26			
	2) 食を知る・活かす	① 地場産品を知る・伝える	K U	-	7～13			
		② 新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	K U	-	14、15、18、19、22			
		③ 文化や歴史を知る・活かす	K U	-	-			
	3) 文化や歴史を知る・活かす	① 地域の各種文化を知る・活かす	K U	-	-			
		② 地域の歴史を知る・活かす	K U	-	27			
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	① 沿道景観を整える	K U	-	1～6	<p>●方針「地域と資源をつなぐ“道”を整える」では、春の各種沿道清掃活動、景観づくりを検討するための景観診断の取り組みを行った。春の清掃活動では「阿寒・摩周・中標津」のリレー清掃、摩周グリーンウォーク、中標津清掃奉仕活動を実施した。また、今年で4回目となるキングオブグリーンウォークが行われ、昨年に引き続き関係機関の協力も増え、さらに地域住民の参加とシーニック活動自体のPRにもつながることができた。道を整える検討として「景観診断」を行った。今年の診断した景観ポイント及び景観の改善箇所については、一昨年の中標津、昨年の弟子屈での結果をあわせ「景観づくりマスタープラン」としてまとめる予定である。今後は「地域と資源をつなぐ“道”を整える」プランをもとに、行政連絡会議や地域住民のもの広く紹介し、連携しながら着実な景観づくりの活動を実施していききたい。</p> <p>●方針「観光客を受け入れる環境を整える」では、今年がカフェ連携の取り組みのなかで行った地域情報収集・提供の取り組みを挙げることができる。主に各エリアの観光案内施設一覧表を作成し、8つのカフェで情報提供を行った。また、地域情報入りのカフェマップの作成等もしている。なお、これらは、カフェスタッフミーティングでの検討や各カフェで実施した広域観光情報調査結果をもと作成している。次年度は、シーニックカフェを中心にして、更なる地域情報の充実、ホスピタリティの向上を行う。なお、本ルートにおける情報発信機能を最大限に活用し内外に周知を行う。</p> <p>●方針「地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する」では、今年は今後の本格的な活動展開に向けた検討として「景観づくり検討会」を開催したことが挙げられる。具体のツーリズムの取り組みでは「第4回キングオブグリーンウォーク」が挙げられる。また、冬季の活動として「摩周ウインターフェスタ」挙げることができる。特に冬季の取り組みとして、今年「摩周ウインターフェスタ」をシーニック活動としても行ったが、冬季の地域の魅力を提供する活動には各エリアでのこれらの既存イベントが多数あることから、次年度は各エリアのイベントと連携したルートでのPRなど、総合的に地域の冬をPRする取り組み等を行っていききたい。</p> <p>●方針「各種情報を伝える・蓄える」では、ルートHP・マガジンを通じた地域情報発信、各エリアのカフェ等での情報提供、また、ルートHPでの参加型による各種情報地区製の仕組みづくりや「懐かシーニックパネル展」の取り組みを通じた歴史情報の収集等が挙げられる。特にルートHP・マガジンを通じた地域情報発信では、年2回発行のルートマガジンを今年実施し、新たに地域の食・水などの資源を取り上げ、情報収集と発信を行った。また、HPでは既存のエリアごとの旬な情報発信を地域ライターの方々と協働で実施した。今後は特に地域ライターの方との連携とHP上での不特定多数の人との交流に力を入れ、情報収集・蓄積・発信の取り組みとルートのファンづくりを進めていききたい。</p>		
		② 物語のあるみちをつくる	K U	-	-			
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	① おもてなしの質を整える	K U	-	7～20			
		② 既存施設の質を整える	K U	-	18			
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	① 地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	K U	-	-			
		② 地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	K U	-	3、7～19、28			
		① HP・各種広報誌等による情報提供	K U	-	14、20～23、25			
	4) 各種情報を伝える・蓄える	② 観光案内施設等による情報提供	K U	-	7～19			
		③ 各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	K U	-	22、27			

ルート運営計画基本方針		活動No			平成19年度 地域活動(総括)		
3 地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり <創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる	① 地域(子ども達)への環境教育	K	U	-	24、26	<p>●方針「自然と共に生きる意識を育てる」では、子供を対象とした「釧路湿原音探検」、摩周での観光交通実験が挙げられる。特に子供に対する環境教育では当該ルートに自然環境に関する資源が豊富である地域特性を活かし、既存の様々な団体が取り組んでいる環境を知る取り組み等との連携や、地域の教育機関と連携した地域環境教育等の取り組みも検討していきたい。また、摩周湖社会実験の取り組みは今年度の実験であったが、摩周湖を保全する取り組みとして次の展開を検討するとともに、他のエリアにおいても地域独自の純度の高い自然環境があることから、広く観光客にも自然環境を伝える取り組みを展開していきたい。</p> <p>●方針「自然を保全・活用する仕組みを創る」では、摩周での観光交通実験、森づくりの仕組みとして弟子屈のカフェの取り組みが挙げられる。その中でも弟子屈のカフェで販売されたバーガーの売り上げの一部を植樹基金として活用する「エゾシカバーガー基金」がある。この基金を、ルートでの自然を守る仕組みとして考え、ルール、植樹箇所を選定などの取り組みを定着させることを検討し、ルートの森づくり活動に発展させていきたい。</p> <p>●方針「循環型社会のビジネスモデルを育てる」では、カフェでの検討とルートHP更新を“間接的には該当する取り組み”としてあげた。しかし、当該方針に直接該当する取り組みとは言い難く、次年度に向けては、真にシーニックバイウエイの取り組みから生まれた、コミュニティビジネスを育てる取り組み、また、地域経済循環の仕組みの一翼となる取り組みを検討し実施していきたい。今年度はカフェでの各種取り組みを得に力を入れて行った。これにより、観光客のニーズなど新たに把握することもできた。これらの結果も活かしながら、地域景観・環境保全などの大テーマに即した取り組みに発展させていきたい。具体的には、継続となるカフェの取り組みの他、地域景観を活かした観光(ツアー)などを地域独自で展開できればと考えている。</p>
		② 来訪者(観光客)へのインタプリテーション	K	U	-	29	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	① 自然を守るルールをつくる	K	U	-	29	
		② 自然を保護・育成する仕組みをつくる	K	U	-	10、29	
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	① コミュニティビジネスを育てる	K	U	-	18	
		② 地域経済循環の仕組みを創る	K	U	-	19、22	

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ KU-1

Clear Stream Scenic Byway

阿寒・摩周・中標津リレー清掃「摩周クリーンウォーク」

- 【内 容】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイのエリアメンバーは約50名参加（内釧路開発建設部10名）し、摩周湖の第3展望台から摩周圏観光文化センター間の約12kmを担当
- 【日 時】 平成19年6月2日
- 【場 所】 弟子屈町内
- 【主 催】 弟子屈町
- 【協 力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
- 【参加人数】 町内外の約580名



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ KU-2

Clear Stream Scenic Byway

阿寒・摩周・中標津リレー清掃「中標津清掃奉仕活動（H19年度）」

- 【内 容】 中標津エリア他、弟子屈エリア等の釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイメンバーが約30名参加（内釧路開発建設部15名）し、中標津エリアの主要国道を奉仕活動として清掃
- 【日 時】 平成18年6月3日
- 【場 所】 中標津町内
- 【主 催】 中標津町
- 【協 力】 中標津町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、釧路開発建設部ほか多数
- 【参加人数】 200名



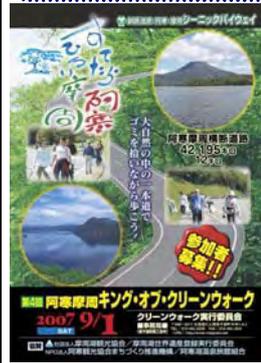
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-3

Clear Stream Scenic Byway

第4回阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク

- 【内 容】 42.195kmコース、22kmコース、12kmコースからなるごみ拾いウォーキングガイドブックを作成し、シーニックバイウェイ制度の紹介、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの紹介を実施
- 【日 時】 平成19年9月1日
- 【場 所】 阿寒摩周横断道路（R241）他
- 【主 催】 クリーンウォーク実行委員会
- 【協 力】 釧路支庁・弟子屈町・釧路市・環境省北海道地区自然保護事務所
釧路開発建設部・釧路開発建設部弟子屈道路事務所（軍手・ゴミ回収など）
- 【参加人数】 92人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-4

Clear Stream Scenic Byway



花いっぱい活動団体交流会

- 【内 容】 ルーとしての今後の花いっぱい活動に取り組む方向性（コンセプト）の検討、普段の会議や広域的な活動に参加できない、花いっぱい関係団体への参加意識の醸成を目的に実施
- 【日 時】 平成20年3月7日
- 【場 所】 釧路市交流プラザさいわい大会議室
- 【主 催】 景観まちづくり部会
- 【協 力】 釧路開発建設部
- 【参加人数】 27人



花いっぱい活動団体交流会

平成20年3月7日(金)
 釧路市交流プラザさいわい大会議室(6F)
 14:00~16:00(13:30受付開始)

基礎講演
 「風景のつくり方」
 講師：長谷川啓士氏

活動事例紹介
 「阿寒湖温泉
 地域育苗システムの実践報告」
 紹介者：萩生慧子さん

懇親交流会

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-5

Clear Stream Scenic Byway

第3回景観づくり検討会（釧路湿原エリア景観診断）

- 【内 容】 弟子屈エリアにおいて、これまでの活動で発掘した地域資源や、一層の活用が考えられる地域資源、及び地域資源周辺環境のフィールド調査。フィールド調査結果から景観づくりの方向性について検討。
- 【日 時】 平成19年10月13日（土）9：00～16：30
- 【場 所】 釧路市生涯学習センター、釧路湿原エリア
- 【主 催】 景観まちづくり部会
- 【協 力】 釧路支庁、釧路市、釧路開発建設部
- 【参加人数】 21人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-6

Clear Stream Scenic Byway

第4回景観づくり検討会

- 【内 容】 阿寒湖エリアにおいて、これまでの活動で発掘した地域資源や、一層の活用が考えられる地域資源、及び地域資源周辺環境のフィールド調査。フィールド調査結果から景観づくりの方向性について検討。
- 【日 時】 平成19年11月7日（水）9：00～17：00
- 【場 所】 阿寒観光協会会議室、阿寒湖エリア
- 【主 催】 景観まちづくり部会
- 【協 力】 釧路支庁、釧路市、環境省、釧路開建
- 【参加人数】 28人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

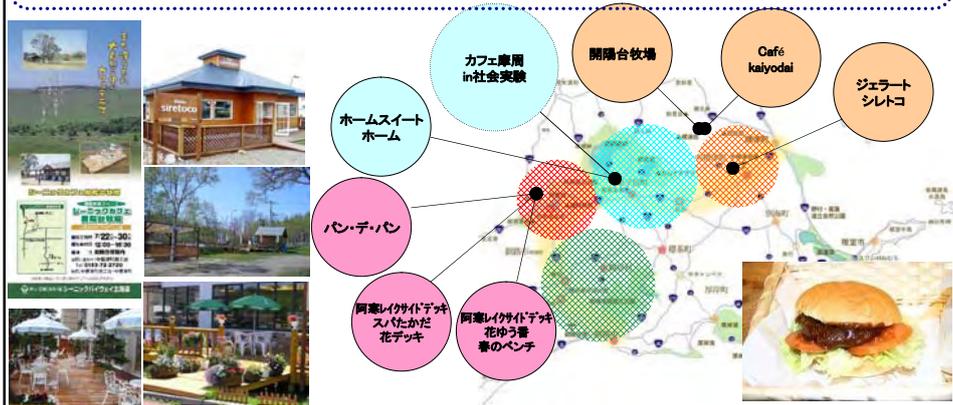
【KU-7~19・参考】

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ・ルート連携実施

【内 容】各エリアから新たなカフェも参加し、ルートを通じた8つのカフェ連携での取り組みを実施。各カフェ独自の取組みの他、カフェめぐりマップ、スタンプラリー、観光ニーズ調査、ルート観光施設一覧表の作成と配布など、シーニックカフェの情報機能を活かした取り組みや、活動団体以外の各店舗スタッフ等も参加してのミーティング等での現状・課題把握とルールづくりなど、団体の枠を超えた、情報ネットワークと地域振興の取り組みに発展しつつある。

【参加カフェ】「シーニックカフェ開陽台牧場」「Scenic Caffé Kaiyodai」「シーニックミルクカフェ ジェラートシレットコ」「シーニックカフェ ホームスイートホーム」「シーニックカフェ パン・デ・パン」「シーニックレイクサイドカフェ春のベンチ」「シーニックレイクサイドカフェ・スバたかだ」



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【KU-7~19・参考】

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ・ルート連携実施 [参考：シーニックカフェ各店舗の概要]



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-7

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ開陽台牧場（2007）

【内 容】「緑の風薫る 贅沢な時間～しばし立ち止まり、のんびりした時間の中で美味しい空気と、美味しいコーヒーをお楽しみ下さい～」のキャッチコピーで実施する、期間限定、超絶景手づくりカフェ開陽台牧場！好評の第2弾

【日 時】平成19年7月22日～29日〔営業時間12：00～16：30〕

【場 所】北海道標津郡中標津町字俣落 開陽台牧場内

【主 催】中標津町商工会青年部

【協 力】中標津町

【参加人数】約600名



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【KU-7・参考】

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ開陽台牧場・2007〔参考：H19年度の新たな活動〕

■2007年度の新たな活動



町内の授産施設と連携した陶芸作品の展示即売会



カフェにパークゴルフセットを設置し、楽しんでもらいながら滞在時間の延長のための工夫をした。



中越地震義援金募集も実施



行政連絡会議の協力を得て、関係市町村の観光パンフを設置し、広域観光情報発信をおこなった。



開陽台展望館にて、僅かシーニックパネル展を開催、広域観光情報発信と共に、観光客へのおもてなし、ルートPRなどを行った。



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-8

Clear Stream Scenic Byway

Scenic Caffè Kaiyodai

- 【内 容】シーニックカフェ開陽台牧場での実績を元に、中標津町の施設「開陽台展望館」内の一角で長期間開催したカフェ。北海道産のおにぎりやパン、地元牛乳を使用したドリンク・ジェラート、開陽台周辺で取れた蜂蜜を使ったジェラートなど、50種類以上
- 【日 時】4月28日～10月31日〔営業時間〕AM9:00～PM17:00
- 【場 所】北海道標津郡中標津町宇俣落2256番地16
開陽台展望館内 [Tel] 0153-74-2525
- 【主 催】中標津町
- 【協 力】中標津町商工会青年部
- 【参加人数】約2500人



情報発信コーナー



地元開陽台とれた蜂蜜をつかったはちみつソフト



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-9

Clear Stream Scenic Byway

シーニックミルクカフェ ジェラートシレットコ

- 【内 容】知る人ぞ知る、ジェラートの超有名店のアイス工房！ジェラートシレットコとの連携企画、シーニックカフェの取り組みに協賛という形で、シーニックバイウェイの情報拠点としても協力頂く
- 【日 時】不定休・通年営業
- 【場 所】北海道標津郡中標津町東2条南2丁目
- 【主 催】ジェラートシレットコ
- 【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ、中標津町商工会青年部
- 【参加人数】約2000人



有志による看板制作

シーニックオリジナル



ルートマガジンを読む家族連れ

情報発信をすることにより、店舗スタッフとお客様の交流が増えている。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-10

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ ホームスイートホーム

【内容】 弟子屈町商工会青年部がメニュー開発を行ったルートの新名物「エゾシカバーガー」で人気を博す「ホームスイートホーム」とルートの連携カフェ！地元屈斜路小麦を使った新メニューづくりなど、カフェでの情報発信の他、地域食材を使った取り組みも活発に行う！

【日時】 2007年：4月28日～11月5日

【場所】 北海道川上郡弟子屈町湯の島3丁目5

【主催】 ホームスイートホーム

【協力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
弟子屈町商工会青年部

【参加人数】 約1200人



カフェの大人気メニュー
エゾシカバーガー



カフェ用オリジナルカップの製作

隣接地に足湯を整備



カフェ近隣の湧水(水を汲んでコーヒーが楽しめる)



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-11

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェ パン・デ・パン

【内容】 阿寒湖温泉にあるお洒落なカフェ＆ベーカリー、今年、釧路ルートのカフェ連携の取り組みに賛同頂き、シーニックカフェとして、また、観光客の休息と地域情報の発信拠点の場として一役買う、阿寒湖畔の憩いの場。お店の前には足湯も設置。

【日時】 通年営業（午前8時～午後7時）

【場所】 阿寒湖温泉1丁目6番6号（桜花ゆう香隣）

【主催】 パン・デ・パン

【協力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
阿寒観光協会

【参加人数】 約1800人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-12

Clear Stream Scenic Byway

シーニック レイクサイドカフェ 春のベンチ

【内 容】阿寒湖畔のホテル「花ゆう香」のオープンデッキがシーニックカフェに、今年、釧路ルートのカフェ連携の取り組みに賛同頂き、シーニックカフェとして、また、観光客の休息と地域情報の発信拠点の場としても一役買う、約25Mのウッドデッキはロビーより出入り口から自由に出入りができ阿寒湖が間近に迫る最高のロケーション。夕日に色づく湖面が美しい、眺望箇所

【日 時】夏季（9：00～17：00）

【場 所】阿寒湖温泉1丁目6番1号

【主 催】花ゆう香

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ、阿寒観光協会

【参加人数】約1200人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-13

Clear Stream Scenic Byway

シーニック レイクサイドカフェ スパたかだ

【内 容】阿寒湖畔のホテル「スパたかだ」のオープンデッキがシーニックカフェに、今年、釧路ルートのカフェ連携の取り組みに賛同頂き、シーニックカフェとして、また、観光客の休息と地域情報の発信拠点の場としても一役買う、レイクロボスターバスタ、エソシカハンバーグなど、地元食材を活かした取り組みを活発に行う。ココでしか食べられない味が大人気！湖を見ながらゆっくり景観と地域の味を楽しむレイクサイドカフェ

【日 時】夏季（7：00～10：30、11：00～14：00
18：00～20：00）

【場 所】阿寒湖温泉1丁目6番11号

【主 催】レイクスパたかだ

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ、阿寒観光協会

【参加人数】約1200人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-14

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェめぐりマップの作成・配布

- 【内 容】シーニックカフェの相互PR、シーニックカフェ間の連携、シーニックバイウェイ北海道及び釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの啓蒙を目的に、シーニックカフェを概要やおすすすめメニュー、周辺観光地、を紹介するマップを製作、マップ編集はシーニックカフェスタッフが中心となり実施した。
- 【日 時】9月20日～なくなり次第終了
- 【場 所】シーニックカフェ、道の駅（根釧+網走、十勝など隣接する箇所）、観光協会、リカ-会社（19社）、その他（全50機関）
- 【主 催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【協 力】道の駅（根釧+網走、十勝など隣接する箇所）、観光協会、リカ-会社（19社）、その他（全50機関）
- 【参加人数】5000部（人）への配布（釧路・根室地方を訪れる観光客の方、住民の方）



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-15

Clear Stream Scenic Byway

シーニックカフェスタンプラリー（おいしーにっくスタンプラリー）企画・実施

- 【内 容】シーニックカフェの相互PRと連携、観光客の観光ニーズ等の分析を目的にシーニックカフェ6か所を回るスタンプラリーを実施、スタンプラリーの応募葉書には、観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行った。
- 【日 時】9月20日～11月15日（応募×切）
- 【場 所】シーニックカフェ、道の駅（根室、釧路+網走、十勝など隣接する箇所）、観光協会、レンタカー会社（19社）、その他（※シーニックカフェめぐりマップへの折込）
- 【主 催】Home Sweet Home、ザ エード 別荘、かたがひが、Pan de Pan、花ゆらぎ、レイクスパ たかだ
- 【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【参加人数】5000部（人）への配布（内回収 98枚・人）



スタンプラリーのルール

スタンプを奪って旅元の「おいしーグルメ」が当たる
おいしーにっくスタンプラリーに参加しよう!!

合計20名額

★アンケートのご協力をお願いします。
※1. カフェスタンプラリーの応募手続きを完了して下さい。

※2. あなたは、観光情報もここで探せます。観光協会のホームページやパンフレット、観光案内所、道の駅、レンタカー会社、観光バス会社、観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

※3. 今後の観光の目的は何か。

※4. あなたが探したい観光情報は何か。観光協会のホームページやパンフレット、観光案内所、道の駅、レンタカー会社、観光バス会社、観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

※5. シーニックカフェに観光客を呼び込みたい観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

※6. シーニックカフェマップはありますか。

※7. スタンプラリーを毎年実施するかどうか、参加したいですか。

※8. 観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

※9. 観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

※10. 観光客のニーズ分析のための「アンケート調査」を行います。

【お問合せ先】
観光協会 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
おいしーにっくスタンプラリー事務局
0155-242-2229 0155-242-2230

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

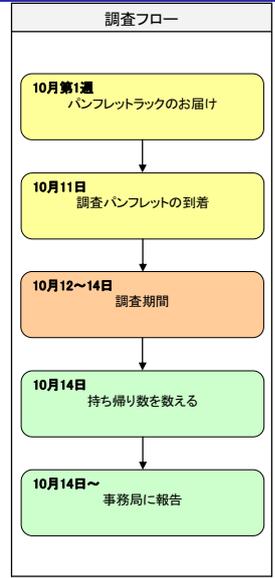
KU-16

Clear Stream Scenic Bway

シーニックカフェ広域観光情報ニーズ調査の実施

【内 容】 ルート観光情報拠点としての観光情報の充実、広域的な観光情報発信の必要性、また、広域的なパンフレット一括管理に向けた検討などを目的にカフェ共通のパンフレットラックを設置し、ルート内5地域（釧路市街・阿寒湖温泉・弟子屈町・中標津町・別海町）のパンフレットを設置し、3日間の持ち帰り数を調査した。平成19年6月29日に実施された「第1回カフェスタッフミーティング」の提案より『現状では、地元の観光パンフレットを設置しているが、近隣の観光情報を聞かれる事が多い。観光客は、次に行く場所の情報を求めているのではないだろうか。シーニックカフェで共通のラックを設置するなどして、ルート内や近隣のパンフレット設置を考えたい』との検討結果を基に実施

【日 時】 10月12日（金）～14日（日）
 【場 所】 Home Sweet Home、ジェラートシレットコ・カフェカイトウダイ、Pan de Pan、ホテル花ゆう香、レイクスバたかだ
 【主 催】 上記同様
 【協 力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
 【参加人数】 持ち帰り数：釧路市98、阿寒湖82、弟子屈133、中標津町36、別海町50



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-17

Clear Stream Scenic Bway

シーニックカフェ・観光案内所一覧表の配布

【内 容】 ルート観光情報拠点としての観光情報の充実（観光客対応のレベルアップ）、広域的な観光情報発信の必要性、シーニックカフェ相互PR・連携を目的に、シーニックカフェと釧路・根室地方の観光案内所の連絡先を記載した、電話帳（下図）を各カフェに配布

【日 時】 10月第1週
 【場 所】 Home Sweet Home・ジェラートシレットコ・カフェカイトウダイ、Pan de Pan・ホテル花ゆう香・レイクスバたかだ
 【主 催】 上記同様
 【協 力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
 【参加人数】 計測不能



お役立ち！観光案内所一覧

シーニックカフェ 一覧

Home Sweet Home
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

ジェラートシレットコ
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

カフェカイトウダイ
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

パンデパン
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

ホテル花ゆう香
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

レイクスバたかだ
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市南1-1-1

阿寒湖温泉
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：阿寒町

弟子屈町
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：弟子屈町

中標津町
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：中標津町

別海町
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：別海町

釧路市街
 営業時間：4月～9月 10:31～19:30 / 10月～3月 10:31～17:00
 住所：釧路市街

地図

お問い合わせ

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-18

Clear Stream Scenic Byway

第1回シーニックカフェスタッフミーティング

【内 容】第1回目のテーマは“互いを知る”。シーニックカフェの連携や相互PRに向けての第一歩として実施。互いのミーティングでは、カフェの店舗概要や地産地消の取り組み等について整理、シーニックカフェとして役割については、「シーニックカフェ6か条（案）」示された。また、シーニック情報拠点としての役割については、ジェラートシレットコ大橋氏より、近隣の観光情報を一括にまとめた“共通のラック”の設置が提案された。

なお、12月中に第2回カフェミーティングの開催が決定した。

【日 時】平成19年6月29日（13：00～14：20）

【場 所】ニュー阿寒ホテル 会議室

【主 催】景観まちづくり部会

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

【参加人数】【阿寒湖エリア】Pan de Pan、花ゆう香、【弟子屈エリア】Home Sweet Home、

【中標津エリア】gelato siretoco、caffè kaiyodai

【カフェ共通の約束（案）】

- その1 地域の“おいしい”を提供します
- その2 旅が楽しく過ごせるような、地域の情報を提供します
- その3 快適に過ごせるように、駐車場・トイレ・休憩スペースを提供します。
- その4 “シーニックカフェ制度”について理解し、わかりやすく説明します
- その5 ルートHP “シーニックカフェ日記”を更新し、情報発信します
- その6 どんな時も笑顔で明るく対応します



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-19

Clear Stream Scenic Byway

第2回シーニックカフェスタッフミーティング

【内 容】第1回目に引き続き、シーニックカフェの取組みについて今後の連携に向けて等について検討された。

【日 時】平成19年12月12日（13：00～15：00）

【場 所】弟子屈町商工会会議室

【主 催】景観まちづくり部会

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

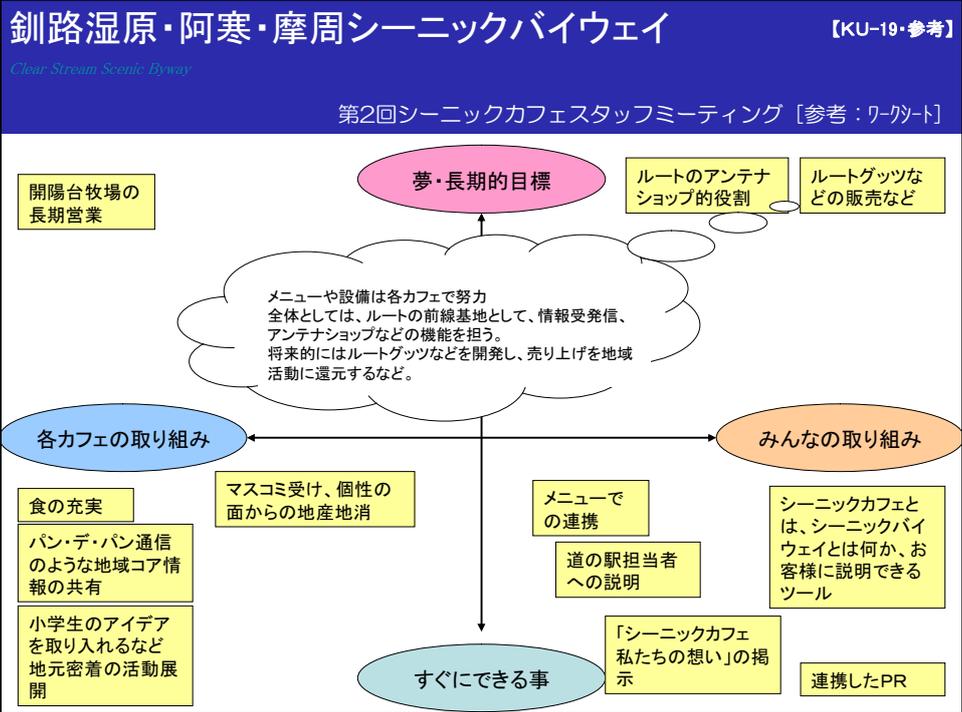
【参加人数】【阿寒湖エリア】Pan de Pan

【弟子屈エリア】Home Sweet Home、

【中標津エリア】gelato siretoco、caffè kaiyodai

- シーニックカフェの取組みについて
 - ・調査研究の中間報告
 - ・今年度の活動の感想・改善点
 - ・お客様の求めていること
 - ・調査研究で感じた反省点、改善点
 - ・こんなカフェにしたい（夢や希望）、連携して取り組みたいこと
- 今後の連携に向けて
 - ・シーニックカフェの増設
 - ・シーニックカフェ特別賞の検討
- 「シーニックカフェ6か条（案）」について
 - ・名称の検討
 - ・活用方法について
- その他
 - ・シーニックバイウエイ支援センターによる広報媒体の紹介
 - ・ルートHPで参加型4企画がスタート
 - ・シーニックカフェからの提案
 - ・今後のスケジュールについて
- カフェスタンプラリー “おいしーにっくスタンプラリー” 抽選会





釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ KU-20

Clear Stream Scenic Byway

木製看板の製作と掲示

【内 容】 ルート運営委員有志により、木製看板の製作を行い、シーニックカフェ、懐かシーニックパネル展などにおいて掲示した。

【日 時】 H19年の辻谷智之氏の仕事の空き時間や休日

【場 所】 ルート運営委員長 辻谷智之氏 自宅車庫

【主 催】 ルート運営委員長 辻谷智之氏

【協 力】 弟子屈町商工会青年部（有岡氏他）

【参加人数】 3名










釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-21

Clear Stream Scenic Byway

H19年度ルートマガジン作成・発行（春夏・秋冬号）

【内 容】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式マガジン、「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信フリーペーパー情報広報部会で編集会議を行い、幹事会、他の部会と連携しながら発行（春夏号は、日中韓観光外相会合に対応し、英中韓3ヶ国語版を製作）

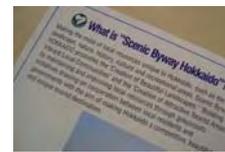
【日 時】

【場 所】【配布場所】釧路空港、中標津空港のレンタカー各社、釧路・根室・網走管内の一部の道の駅

【主 催】情報広報部会（ルートマガジン編集会議）

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【参加人数】配布数2万



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-22

Clear Stream Scenic Byway

ルートホームページ更新 <http://sbw.web-p.jp/>

【内 容】観光情報の集約と発信、「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信Blog（CGIによる共同構築型サイト）

【主 催】情報広報部会

【協 力】釧路sbwルート関係者、外部編集協力者

【参加人数】【ヒット数】35,000超



■2007春夏表紙



■2007秋冬表紙

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

【KU-22・参考】

Clear Stream Scenic Byway

ルートホームページ更新 <http://sbw.web-p.jp/> [参考：HP 抜粋]

暑さに負けず・・・

■2019/06/24 金 09:24 | Mr. Yumiko
暑い日が続いていますが、花どおりの花たばこ元気に咲いています。水やりもこの暑さですから大変でしょうね。



釧路湿原エリア「看板娘」編・001

■2019.06.27 Wednesday 20:30 | せせせせせせ

歴史は「ワンダリング・プロジェクト」(釧路湿原自然再生委員会)が主催する「ワンダリング」の企画による。

今年が初めての開催のため、今回は「看板娘」も登場することになりました。看板娘は、釧路湿原の自然を、言葉と写真で紹介し、観光客の心を癒す役割を担います。そして、湿原の自然を、子どもたちに伝える役割も担います。

「看板娘」は、釧路湿原の自然を、言葉と写真で紹介し、観光客の心を癒す役割を担います。そして、湿原の自然を、子どもたちに伝える役割も担います。

「看板娘」は、釧路湿原の自然を、言葉と写真で紹介し、観光客の心を癒す役割を担います。そして、湿原の自然を、子どもたちに伝える役割も担います。

「看板娘」は、釧路湿原の自然を、言葉と写真で紹介し、観光客の心を癒す役割を担います。そして、湿原の自然を、子どもたちに伝える役割も担います。



魚が泳いでいる様子



お食事の様子



お食事の様子



お食事の様子

イオマンテの火まつり公演

■2019/06/22 火 21:48 | せせせせ

今年10日から12月まで開催される「イオマンテの火まつり」。そのプレ公演が1日行われました。

10周年を迎える今年・・・観客に生まれ変わり、すごい事になっています！



自然に対する畏敬と神楽
自然への畏敬と神楽(舞)と踊りにごめ
その神楽の舞りと神楽への敬意は、ともに舞い上がり
阿寒の神楽の舞に響かれます



お食事の様子



お食事の様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-23

Clear Stream Scenic Byway

ルートホームページ 第1回ライターズミーティング

【内 容】 ルートHP編集長である酒田氏を講師役に
“テーマを持った記事の書き方”について
講義を受けた。ライター個々のブログ作成
に関わる疑問について酒田氏が解答し、
疑問点の共有にも繋がった。
また、当日「HPライターズマニュアル」が
配布され、ライターの技術的向上を図った。
なお、アクセス分析結果の発表も行われ、
「ビューポイント」と「看板娘」のコーナー
が高いことが結果としてわかったことから、
より一層の充実についても検討が行われた。
その他にも、会員制ページ、Webアンケート
の実施に向けた検討等も行われた

【日 時】 平成19年6月29日(14:30~16:00)
【場 所】 ニュー阿寒ホテル 会議室
【主 催】 情報広報部会
【協 力】
【参加人数】 「参加ライター」16名



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-24

Clear Stream Scenic Byway

ルートホームページ（湧水・名水の紹介）

【内 容】 Clear Stream Scenic Byway ならではの水にちなんだ取り組み
 ルート内各所にある“湧水”を現地調査し、HP上で紹介。
 以下、中心者“辻谷氏”のHP紹介文
 『私たちの住む地域には豊かな水環境があります。
 いたる所で清らかな流れに出会い、
 摩周湖の伏流水をはじめとする湧水群が点在しています。
 ゆっくり時間をかけて、
 そんなミズ達を紹介していきます・・・』

【日 時】 通年の取り組み（長期）
 【場 所】 ルート内の河・水辺
 【主 催】 景観まちづくり部会、情報広報部会
 【協 力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニック バイウエイ
 【参加人数】 10人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

KU-25

Clear Stream Scenic Byway

FM特番「シーニックカフェめぐり in 弟子屈」 公開生放送

【内 容】 シーニックバイウエイ北海道および釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイのPR、啓蒙と、「道路ふれあい月間」であることから、日頃何気なく利用している「道路」に対し、より愛着を深めていただくことを目的に実施
 【日 時】 8月25日（土） 10時48分～12時00分
 【場 所】 弟子屈町
 【主 催】 FMくしろ、FMねむろ共同制作特番
 【協 力】 ルート運営代表者会議、ルート運営行政連絡会議



道の駅摩周温泉を舞台に（総勢100名）



シーニックカフェの皆さんが



美味しいをもちより



食べながら、生放送



会長はルートPR:広域連携を中心に



終了後、見学者へ抽選でプレゼント！

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-26

Clear Stream Scenic Byway

釧路湿原音探検

【内 容】「小型集音機」を装着し、水の音や鳥の音、草の音…と
色々な自然の音を楽しむイベント。

【日 時】平成19年7月1日

【場 所】達古武オートキャンプ場

【主 催】ボランティアネットワークチャレンジ隊

【協 力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【参加人数】30人

参加料は300円（保険料込み）



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-27

Clear Stream Scenic Byway

懐かシーニックパネル展

【内 容】一人の優れたアマチュアカメラマンのご子息との出会いから、地域の古い写真を収集、パネル化し、巡回展を開催
ルートの歴史を伝えていくことを目的に実施。『写真の前に立ちすくみ、立ち去ることができなかった
（来場者感想より）』

【日時と場所】H19年3月1～15日釧路地方合同庁舎エントランス

H19年6月11日～17日摩周観光文化センターロビー 「摩周・屈斜路 環境にやさしい観光交通実験」連携企画

H19年7月22日～中標津町開陽台展望館（シーニックカフェ開陽台牧場連携企画）

H19年10月6日摩周観光文化センターロビー（摩周ブルーコンサート連携企画）

H19年10月28日摩周観光文化センターロビー（弟子屈町文化祭連携企画）

【主 催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【協 力】釧路開発建設部、北海道釧路支庁、釧路市、弟子屈町、中標津町



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-28

Clear Stream Scenic Byway

摩周ウインターフェスタ '08

- 【内 容】 中心市街地活性化、次世代の地域の活力の一助、観光振興などを目的にウインターフェスタを開催。
- 【日時・場所】 弟子屈町商工会駐車場
- 【主 催】 弟子屈町商工会・摩周湖世界遺産登録実行委員会
- 【協 力】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 約4000人（主催者発表）



豪華景品が当たる!!!
 市内最大賞 1万円
 1万円景品 1000円
 2万円景品 5000円
 プレゼント
 2008年9月9日・10日 入場無料
 主催 / 摩周ウインターフェスタ実行委員会
 協賛 / (株) 阿寒観光バス、(株) 摩周観光バス
 協賛 / 旭川市観光協会、(株) 旭川観光バス



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-29

Clear Stream Scenic Byway

観光交通社会実験連携企画

- 【内 容】 「摩周・屈斜路 環境にやさしい観光交通実験」の期間中、マイカー規制による代替バス乗降場となる摩周観光文化センターロビーにて、様々な連携企画を実施
- 【日 時】 平成19年6月11日～17日（8：00～17：00）
- 【場 所】 摩周観光文化センター、川湯園地駐車場、摩周湖第一展望台、第三展望台、道の駅摩周温泉ほか
- 【主 催】 摩周・屈斜路社会実験実施協議会（弟子屈町、弟子屈町商工会、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ）
- 【協 力】 北海道運輸局、釧路開発建設部、他
- 【参加人数】 計測不可能

シーニックカフェ摩周



シーニックカフェ「ホームスイートホーム」が出張します！
 とことん地元素材にこだわった、期間限定のオリジナルメニューをご堪能ください。

シーニックパネル展 シーニックDVD上映会

シーニックって何？
 全道に広がる6指定ルートのPR映像を使い、
 素朴な疑問にお答えします！

摩周湖パネル展

守るべきものがここにある。
 摩周湖の藍を、鮮やかにご紹介します。
 季節の移り変わり、摩周湖の持つ様々な表情をご堪能ください。

懐かシーニックパネル展



懐かしい写真を前に、摩周の未来の姿を感じてください。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

【その他】

Clear Stream Scenic Byway

第2回ルート代表者会議

【内 容】年1回、ルートの全活動団体と集い、シーニック活動（事業）の報告、及び今後の事業計画等を審議

【議事次第】

- ・開会挨拶
- ・来賓挨拶
- ・議事
 - 第一号議案 平成18年度事業報告
 - 第二号議案 平成19年度事業計画
 - 第三号議案 構成団体の入退会に関し
 - 第四号議案 役員選任
 - 第五号議案 その他
- ・閉会挨拶
- ・事務連絡

【日 時】平成19年6月21日（15：00～16：30）

【場 所】釧路キャッスルホテル

【主 催】ルート運営代表者会議

【協 力】行政連絡会議

【参加人数】64人



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

【その他】

Clear Stream Scenic Byway

石田東生ルート審査委員視察

【内 容】シーニックバイウエイ北海道推進協議会のルート活動および地域資源に関する視察が行われた。審査委員の石田筑波大教授のほか、シーニックバイウエイ支援センターの加藤事務局長が訪れた。

【日 時】平成19年7月30-31日

【場 所】

【主 催】

【協 力】

【参加人数】



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【その他】

Clear Stream Scenic Byway

「南十勝夢街道&十勝平野・山麓ルート連携フォーラム」への参加とPR

【内 容】地域の若者によるまちづくりの話という、主催者の意向もあり、シーニックカフェ開陽台牧場の話を中心に紹介。お金の事、役場との調整、時間、ボランティアスタッフなど、一つのことをやるには沢山の要素があるが、初めから考えすぎると確実に何も出来なくなる。まずは「やる」と決めちゃう事、難しい問題はやりながら考えるというスタンスが大切と話す。

【日 時】平成19年11月10日

【場 所】大樹町生涯学習センター

【主 催】

【協 力】パネリストとして中標津エリア代表（松貴氏）が出席

【参加人数】



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【その他】

Clear Stream Scenic Byway

「全国都市再生まちづくり会議2007」への参加とPR

【内 容】東京で開催された、全国都市再生まちづくり会議に参加し、ルート活動や運営に関し発表およびパネルディスカッションを行った。当ルートからは蔵根阿寒湖エリア代表が出席した。

【日 時】平成19年7月15-16日

【場 所】

【主 催】

【協 力】

【参加人数】



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ～Clear Stream Scenic Byway～)

[ルート名称] 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	[報告者] ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	[報告年月] 2008/3/31
------------------------------	--------------------------	------------------

基本方針		NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括		
多様な道東ブランドづくりによる	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	① まちを知る・人を知る	K U 5	第3回景観づくり検討会(釧路湿原エリア景観診断)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、弟子屈町商工会青年部、中標津町商工会青年部、	平成19年10月13日	21人	[成果] ・団体の枠を超えた交流が生まれた ・新たな地域資源の発見、改善点の抽出 [課題] ・活動時間の長さ(9:00-17:00)	【地域を知る・活かす】 ●景観づくり検討会(景観診断)を2回開催、シーニックカフェの取り組み、ルートマガジンやHPの情報発信等で「地域を知る・活かす」取り組みを行うことができた。 ●景観づくり検討会では、一昨年の「中標津エリア」、昨年の「弟子屈エリア」に引き続き、今年は「釧路湿原エリア」「弟子屈エリア」での景観診断と検討会を行った。今年は、ルートの中心メンバーの他、両エリアの個別団体からの参加もあり、エリア活動への団体からの参加者数が少なかった釧路湿原・阿寒湖の両エリアの活動の裾の尾を広げることができたとともに、景観診断を通じた新たな「まちを知る」視点が加わった。 ●シーニックカフェ連携の取り組みでは、「阿寒湖エリア」「弟子屈エリア」で新たにカフェの取り組みへの参画があったが、これらは、活動団体以外のカフェ従業員の方も交えた取り組みを行うことにつながり、「地域住民」の視点も含んだマップの作成等、まちを知る取り組みの裾の尾を広げることができた。 ●ルートマガジンの作成、ルートHPの更新の取り組みの中で、活動団体以外の地域住民によるライター制度(ブログ)を試行的に行った。特にHPでは、住民でしか載せられない地域情報などを多く集める仕組みとして成果があった。これらのシーニック活動を通じた「まちを知る」取り組み等は、HPを通じ多くの人に地域の魅力を伝える活動につながっていると思われる。 ●その他では、「釧路湿原音探検隊」で地域を知る取り組みとして30人(内子供10人)の参加があり、音をキーワードに釧路湿原の自然に触れる(知る)取り組みとなった。また、昨年から引き続き行った「懐かシーニックハネル展」は、各エリア巡回で実施し、多くの地域の方に歴史をキーワードに地域を知る機会づくりとなった。また、行政との連携で、あらたに写真等を収集する取り組みが始まったことなど、広域でのまちの情報収集の仕組みができてきたことは成果と言える。 ★次年度は以前よりも細分化した地域資源を収集し、反映させる。次年度は、地場産品、地域の歴史等、地域資源を最大限に活用し、埋もれた地域資源を掘り起こしながら、多様性のある道東ブランド形成を行う。それに伴い、情報広報活動を積極的に実施し、内外への周知活動を行う。	
			K U 6	第4回景観づくり検討会(阿寒湖エリア景観診断)	阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒湖温泉・まりも倶楽部、阿寒湖温泉・シーニックカフェ、中標津町商工会青年部、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会	平成19年12月12日	28人	[成果] ・団体の枠を超えた交流が生まれた ・新たな地域資源の発見、改善点の抽出 [課題] ・活動時間の長さ(9:00-17:01)		
			K U 7~19	シーニックカフェ・ルート連携実施	シーニックカフェ8店舗(シーニックカフェ開陽台牧場2007、シーニックカフェホームスイートホーム、シーニックカフェパン・デ・パン、Scenic Caffé Kaiyodai、シーニックレイクサイドカフェ「春のパンチ」、シーニックレイクサイドカフェ「スパたかだ」、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部			20人		[成果] ・個々で活躍しているカフェに繋がりが出来た ・現場でしか分からない観光客のニーズの把握 ・カフェにおける課題の抽出 [課題] ・参加頻度の少ないカフェに対する対応策 ・個々のカフェの収益アップにつながるシステムの構築
			K U 14	シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	作成:シーニックカフェ8店舗 配布:全活動団体		平成19年9月20日 配布開始	5000部発行 (作成6人)		[成果] ・地場産品を切り口に、ルート内のシーニックカフェを掲載した ・カフェスタッフが編集委員となり作成した ・カフェから歩いていける「おすすめスポット」の紹介を行い、地域を楽しめる工夫をした [課題] ・次年度以降の継続的な実施 ・配布協力機関に、積極的に趣旨説明を行う
			K U 21	H19年度ルートマガジン作成・発行(春夏号)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部、活動団体協力者		平成19年10~11月:企画、編集 平成19年12月配布	編集部員: 4名+協力者		[成果] ・運営委員内担当者が、自ら取材編集を実施し、地域住民と積極的コミュニケーションを図っている ・配布協力実施依頼が、ホテルや観光案内施設より相次いでいる [課題] ・自ら取材編集することによる負担
			K U 21	H19年度ルートマガジン作成・発行(秋冬号)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部、活動団体協力者		平成19年10~11月:企画、編集 平成19年12月配布	編集部員: 4名+協力者		[成果] ・運営委員内担当者が、自ら取材編集を実施し、地域住民と積極的コミュニケーションを図っている ・景観写真等、担当者が日ごろからストックする癖があった ・当初の予定から二ヵ年、全四号を発行したが、地域への定着も認められるので継続する ・春夏号と秋冬号では、持ち帰り数の違いがあり、今後は秋冬号の配布部数を少なくし、春夏号を増刷するなどの調整を行う [課題] ・銀行等、地域住民が日常利用する施設への積極的な配布 ・自ら取材編集することによる負担

基本方針		NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括
多様な資源を知る・活かすことによる 地域の資源をブランドづくり		K U 22	ルートホームページ更新 (http://sbw.web-p.jp/)	弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、クリンウォーク実行委員会、NPO 法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、ボランティアネットワークチャレンジ隊、シーニックカフェバン・デ・パン、シーニックカフェ花ゆう香ラウンジ春のベンチ	通年	エリアライター:38名	[成果] ・平成19年3月現在で38名の地元ライターが活躍 ・地域住民目線の情報を発信 ・趣味、職種などライターの個性を活かした記事展開 ・記事コメントなどで、ライター通しは元より観光客との交流が生まれた [課題] ・ライターによって更新頻度が違う	
		K U 27	懐かシーニックパネル展	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年3月1～15日、6月11日～17日、7月22日～30日、10月6日、10月28日	延べ3000人	[成果] ・ルート内の昭和初期の写真を通じて、まちを知ることができる [課題] ・パネル展のマンネリ化 ・新たな古い写真の収集	
	②自然環境を知る・活かす		第5回景観づくり検討会(景観マスタープラン検討会)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年2月27日	13人	[成果] ・3年間に渡り実施した、景観診断の総括を行い、次年度以降の具体的な取り組みに繋げた ・景観づくりマスタープラン(骨子案)づくりを行った [課題] ・調査期間が3年にも渡った	
		K U 26	釧路湿原音探検	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年7月1日	30人	[成果] ・釧路湿原自然再生普及計画のプログラムとして実施した ・小型集音機を使用し、「音」という視点で湿原を楽しんだ ・子供から大人までが夢中になった ・「湿原音探検マップ」を参加児童を中心に作成した [課題] ・積極的なイベント周知 ・開催回数の増加	
	③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	K U 5	第3回景観づくり検討会(釧路湿原エリア景観診断)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年10月13日	21人	[成果] ・新たな景観資源の掘り起こし [課題] ・プログラムのマンネリ化	
		K U 6	第4回景観づくり検討会(阿寒湖エリア景観診断)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年12月12日	28人	[成果] ・新たな景観資源の掘り起こし [課題] ・プログラムのマンネリ化	
	④温泉を知る・活かす	K U 14	シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	作成:シーニックカフェ8店舗 配布:全活動団体	平成19年9月20日 配布開始	5000部発行 (作成6人)	[成果] ・周辺おすすめ観光スポット紹介の欄で、ホームスイートホームとバン・デ・パンの足湯を紹介 ・観光客や地域住民への広報PR活動に繋がった [課題] ・その他、温泉や足湯など温泉資源のPR	
		K U 10	[カフェ④]シーニックカフェ ホームスイートホーム	弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年4月28日～10月31日	月100人	[成果] ・カフェに足湯を併設 ・道の駅摩周温泉近くにあるため、ドライブ客が積極的に利用 [課題] ・積極的な広報PR ・貸しタオルを置くなど、ホスピタリティの向上	

基本方針		NO		平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題		総括
2) 食を知る・活かす	① 地場産品を知る・伝える	K	U	11	[カフェ⑤]シーニックカフェパン・デ・パン	シーニックカフェパン・デ・パン	通年	月150人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・カフェに足湯を併設 ・地元作家の木彫りのオブジェを配置し、地域らしさをPR ・貸しタオルを設置し、ホスピタリティ溢れている [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な広報PR 	【食を知る・活かす】 ○食を知る・活かす取り組みでは、主に各シーニックカフェの取り組み、また、一般参加の取り組みとしてHPでの「東北海道料理レビの募集」が行われた ●シーニックカフェでは、各エリアのおすすめ食材や料理を観光客に提供する取り組みが今年からはじまった。これまでの中標津での“ミルク”や弟子屈での“エゾシカバーガー”のほか、今年は、阿寒湖エリアでの“レイクrost”など、各エリアの食材を活かしたメニュー開発と提供の取り組みが行われた。シーニックカフェでは、地場産品の使用についての現状調査を行ったほか、今後の取り組みについての検討され、「地域の“おいしい”を提供する」など、カフェの食に関する方針も決められた。 ★その他の取り組みでは、一般参加型企画として、HPでの「ひがし北海道料理レビの募集」も開始した。今年6つのレビが応募されたが、今後はこれらの取り組みの周知とともに、ルートとしての食文化づくりに貢献する活動に向けた検討を行ってきたい。
		K	U	26	釧路湿原音探検	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年7月1日	30人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・釧路湿原自然再生普及計画のプログラムとして実施した ・小型集音機を使用し、「音」という視点で湿原を楽しんだ ・子供から大人までが夢中になった [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・積極的なイベント周知 ・開催回数の増加 	
		K	U	7	[カフェ①]シーニックカフェ開陽台牧場2007	中標津町商工会青年部	平成19年7月22～30日	約600名	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・毎年恒例の企画でありながら、マンネリ化することなく、新たな取り組みを行っている ・中標津牛乳や中標津農業高校のソーセージなど地場産品の積極的な活用PRを実践 [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間が7日程度と短期間 ・シーニックカフェ相互で運動した、同メニューの開発提供 	
		K	U	8	[カフェ②]Scenic Caffe Kaiyodai	Scenic Caffe Kaiyodai、中標津町商工会青年部	平成19年4月28日～10月31日	約2500人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・中標津牛乳や開陽台産クローバーハチミツ、標津産鮭など、積極的に地場産品を活用している ・観光客が多く集まるカフェとし、地場産品は元よりシーニックの広報PRに繋がった [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・通年営業（開陽台展望館は冬期休業であるが、開陽台には観光客が冬期間も多く訪れる） ・シーニックカフェ相互で運動した、同メニューの開発提供 	
		K	U	9	[カフェ③]シーニックミルクカフェ ジェラートシレットコ	シーニックミルクカフェ ジェラートシレットコ、中標津町商工会青年部	通年	約2000人（年間）	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・アイス工房であることから、出来立てのふわふわジェラートが味わえる ・地域住民に常連客が多い ・中標津牛乳だけでなく、ジャガイモや知床の塩等積極的に地場産品使用を行っている [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品を活用を積極的に利用者にPRする ・シーニックカフェ相互で運動した、同メニューの開発提供 	
K	U	10	[カフェ④]シーニックカフェ ホームスイートホーム	シーニックカフェ ホームスイートホーム、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年4月28日～10月31日	月約200名	[成果] <ul style="list-style-type: none"> ・エゾ鹿バーガー、摩周産そば・うどん、アロニアベーグルなど地場産品を積極的に活用 ・湧水水コーヒー（カフェ近くの湧き水を利用者が飲み、パーコレーターで淹れる）など、独創性のあるメニュー展開 ・エゾ鹿バーガーの売り上げの一部は、摩周湖の植樹活動に寄与されている [課題] <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品を活用を積極的に利用者にPRする ・シーニックカフェ相互で運動した、同メニューの開発提供 			

多様な地域の

基本方針	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括		
道東ブランドづくり 資源を知る・活かすことによる	K U	11	[カフェ⑤]シーニックカフェパン・デ・パン	シーニックカフェパン・デ・パン	通年	月150人	[成果] ・阿寒湖畔唯一のベーカリーであり、観光客だけでなく地域住民から愛されている ・根釧牛乳や丹頂いちごなど積極的に地場産品を活用 ・地元小学生と連携し、新メニュー開発 [課題] ・シーニックカフェ相互で連動した、同メニューの開発提供		
		12	[カフェ⑥]シーニックカフェホテル花ゆう香ラウンジ春のベンチ	シーニック カフェホテル花ゆう香ラウンジ春のベンチ	平成19年4月28日～10月31日	月約100人	[成果] ・ホテル内に併設されたオープンカフェであり、宿泊客を中心に利用がある ・パン・デ・パンのメニューを提供しており、根釧牛乳など地場産品を活用 [課題] ・独自メニューの開発 ・シーニックカフェ相互で連動した、同メニューの開発提供		
		13	[カフェ⑦]シーニックカフェレイクスパたかだ	シーニックカフェレイクスパたかだ	通年	月約150人	[成果] ・シーニックカフェ相互で連動した同メニューの開発提供 ・他のシーニックカフェとの積極的なコミュニケーションによる理解 [課題] ・レイクロブスターやエゾ鹿など積極的に地場産品を活用		
	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	K U	14	シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	シーニックカフェ7店舗、その他全活動団体	平成19年9月20日 配布開始	5000部発行 (作成6人)		[成果] ・地場産品の使用を積極的にPRする ・新たな地場産品の開拓 [課題] ・地場産品を切り口に、ルート内のシーニックカフェを掲載した ・ルートとしての地場産品の広報PRに繋がった
			18	第1回シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェ7店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、クリンウォーク実行委員会	平成19年6月29日	16人		[成果] ・地場産品の使用を調査した [課題] ・ヒアリングだけでなく、一定のフォーマットなどを用意し実施する
		K U	19	第2回シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェ7店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年12月12日	13人		[成果] ・地場産品の使用を調査した ・記入シートを作成し、記入をお願いした [課題] ・ミーティングに不参加であったかカフェの地場産品調査
	K U	15	カフェスタンプラリー“おいしいーにつくスタンプラリー”	シーニックカフェ7店舗、その他全活動団体	平成19年9月20日～11月15日	葉書回収98枚	[成果] ・応募賞品はカフェ・各エリアの地場産品を送付した ・カフェ、エリア担当者が、賞品を選定した [課題] ・賞品内容は、「送られてきてからのお楽しみ」と表記したため、当選者しか賞品内容を知らない		
	K U	22	ルートホームページ更新(東北道料理レシピ募集)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部ほか 情報部会員およびルートホームページのライター	通年	エリアライター:38名	[成果] ・今年よりルートHP内に東北道のレシピ募集のコーナーを新設 ・6点の応募があった [課題] ・一般から6件の応募があったものの、今後は団体、関係機関含め、レシピ応募活動の輪を広め、地域の食文化づくりの取り組みとしていきたい		

基本方針	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
3)文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	—				[成果]	【文化や歴史を知る・活かす】 ●文化や歴史を知る・活かす取り組みでは、昨年に引き続きの「懐かシーニックハル展」の開催があげられる。「懐かシーニックハル展」は今年各エリアで計6回開催された。どの回とも地域の公共施設ロビー等で開催され、一般の方は立ち止まって見学していた。特に年配の方から好評を得ていた。 ★「懐かシーニックハル展」では昨年に引き続き、同じ展示内容であったことから、マンネリ化とならないような新たな情報収集が求められるが、今年の行政連絡会議内で弟子屈町さんより新たな写真提供があるなど、情報収集体制についても関係機関連携が始まったことが成果としてあげられる。次年度は団体のみの収集体制から、行政等の関係機関、他各地の歴史資料の収集家などとも連携し、広域圏でのアーカイブ機能として確立していきたい。	
						[課題]		
	②地域の歴史を知る・活かす	懐かシーニックパネル展	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年 3月1～15日、 6月11～17日、 7月22～30日、 10月6日、 10月28日	延べ3000人	[成果]	・ルート内の昭和初期の写真を通じて、歴史がわかる ・パネル展のマンネリ化 ・新たな古い写真の収集	
						[課題]		
個性・強みとなる地域資源や、競争力ある地域（ルートづくり）	1)地域と資源をつなぐ“道（沿道景観）”を整える	①沿道景観を整える	阿寒・摩周・中標津リレー清掃 摩周クリーンウォーク	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年 6月2日	580人	[成果]	【地域と資源をつなぐ“道（沿道景観）”を整える】 ○方針「地域と資源をつなぐ“道”を整える」には、春の各種沿道清掃活動、また、景観づくり検討として景観診断の取り組みを挙げることができる。 ●春の清掃活動では「阿寒・摩周・中標津」のリレー清掃として実施した。摩周クリーンウォーク、中標津清掃奉仕活動、また、今年で4回目となるキングオブクリーンウォークが行われたが、今年は昨年に引き続き、関係機関の協力も増え、さらに、地域住民の参加とシーニック活動自体のPRにもつなげることができた。 ●道を整える検討として「景観診断」が挙げられるが、今年の診断した景観ポイント及び景観の改善箇所については、一昨年の中標津、昨年の弟子屈での結果を合わせ「景観づくりマスタープラン」としてまとめる予定である。今後は「地域と資源をつなぐ“道”を整える」プランをもとにルート全体の沿道景観づくりに取り組んでいく予定である。 ●その他の取り組みでは、「花いっぱい活動団体交流会」での検討を行った。これはルート内の植栽活動を行う9団体を対象に、ルート上の花作りに関する検討を行うものであるが、今年は全団体の参加は得られなかったものの、春の植栽情報の収集とマップづくり、また、HPでのPRなど、沿道景観を整える（彩る）取り組みについて検討することができた。 ★方針「地域と資源をつなぐ“道”を整える」では、3か年に渡り行ってきた景観診断の結果をマスタープランとしてまとめ、行政連絡会議や地域住民もの広く紹介し、連携しながら着実な景観づくりの活動を実施していきたい
							[課題]	
			阿寒・摩周・中標津リレー清掃 中標津清掃奉仕活動(H19年度)	中標津町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会	平成19年 6月3日	200人	[成果]	・沿道景観の美化に繋がる ・団体ごとに清掃区間が振り分けられるため、団体を越えた親睦に繋がらない
			[課題]					
			第4回阿寒摩周キングオブクリーンウォーク	クリーンウォーク実行委員会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、中標津町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会	平成19年 9月1日	92人	[成果]	・阿寒国立公園内の自然の雄大さを、環境美化活動を通じ実感できる ・大会のマンネリ化 ・参加人数の減少
[課題]								
花いっぱい活動団体交流会	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊、阿寒町花いっぱい運動推進会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、弟子屈町自治会連合会	平成20年 3月7日	27人	[成果]	・普段の会議や活動に参加頻度の少ない、花いっぱい活動団体との交流 ・阿寒湖エリアの先進事例紹介が、今後の活動の刺激になった ・参加者数の少なさ ・交流会の形式の検討（フォーラム形式や発表会など）			
[課題]								
第3回景観づくり検討会(釧路湿原エリア景観診断)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年 10月13日	21人	[成果]	・釧路湿原エリアの新たな景観資源の掘り起こしと課題箇所の把握 ・新たな活動参加者（団体）も含んで実施できた ・景観資源、課題箇所とも調査結果をマスタープランとして整理し、実施可能な行動プログラムをつくり実行する必要がある。			
[課題]								

基本方針		NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括		
個性・強みとなる地域資源や、競争力ある地域（ルートを）	2) 観光客を受け入れる環境を整える	②物語のあるみちをつくる ①おもてなしの質を整える	K U 6	第4回景観づくり検討会(阿寒湖エリア景観診断)	阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒湖温泉・まりも倶楽部、阿寒湖温泉・シーニックカフェ、中標津町商工会青年部、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会	平成19年12月12日	28人	[成果] ・阿寒湖エリアの新たな景観資源の掘り起こしと課題箇所の把握 ・新たな活動参加者(団体)も含んで実施できた [課題] ・景観資源、課題箇所とも調査結果をマスタープランとして整理し、実施可能な行動プログラムをつくり実行する必要がある。	【観光客を受け入れる環境を整える】 ○方針「観光客を受け入れる環境を整える」には、各種シーニックカフェの取り組みを挙げることができる。 ●観光客を受け入れる環境づくりでは、今年度はカフェ連携の取り組みの中で、各エリア情報をカフェが中心に収集・提供する取り組みを行った。主なものとしては、各エリアの観光案内施設一覧表を作成し、7つのカフェで情報提供を行った。また、地域情報入りのカフェマップを作成等も行っている。なお、これらは、カフェスタッフミーティングで検討や各カフェで実施した広域観光情報調査結果をもとに作成している。 ★本年度は、シーニックカフェを中心にして、更なる地域情報の充実、ホスピタリティの向上を行う。なお、本ルートにおける情報発信機能を最大限に活用し内外に周知を行う。	
				第5回景観づくり検討会(景観マスタープラン検討会)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年2月27日	13人	[成果] ・3年間に渡り実施した、景観診断の総括を行い、次年度以降の具体的な取り組みに繋げた ・景観づくりマスタープラン(骨子案)づくりを行った [課題] ・参加できなかったメンバーへのヒアリング		
				—						[成果] [課題]
			K U 7~19	シーニックカフェ・ルート連携実施	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部			20人		[成果] ・個々で活躍しているカフェに繋がりが出来た ・連携することにより、利用者にとって有益な情報を一括で発信した ・情報拠点としてのカフェの機能を高めた [課題] ・個々のカフェの収益アップにつながるシステムの構築 ・連携したメニュー開発 ・地域のアンテナショップに向けた具体的検討
			K U 14	シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	作成:シーニックカフェ8店舗 配布:全活動団体	平成19年9月20日 配布開始	5000部発行			[成果] ・地場産品を切り口に、ルート内のシーニックカフェを掲載した ・カフェスタッフが編集委員となり作成した ・カフェから歩いていける「おすすめスポット」の紹介を行い、地域を楽しめる工夫をした [課題] ・次年度以降の継続的な実施 ・配布協力機関に、積極的に趣旨説明を行う
			K U 16	シーニックカフェ広域観光情報ニーズ調査	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年10月12日~14日	持ち帰り数: 釧路市98、阿寒湖82、弟子屈133、中標津町36、別海町50			[成果] ・シーニックカフェに共通のパンフレットラックを設置し、ルート内関係市町村のパンフレットを配置した ・観光客のニーズ把握につながった(今いる観光地より次に向かう観光地上方を求めている) ・他地域のパンフレット設置がおもてなし向上に繋がったとカフェスタッフから意見があった [課題] ・次年度以降のパンフレットの継続的な供給
			K U 17	シーニックカフェ・観光案内所一覧表の配布	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年10月上旬	6人			[成果] ・観光案内の向上のため、観光案内所・シーニックカフェの一覧表を各シーニックカフェに配置した [課題]
			K U 18	第1回シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、クインウォーク実行委員会	平成19年6月29日	16人			[成果] ・個々で活動しているカフェに連携する意識が生まれた ・現場でしかわからない観光客のニーズ把握 ・運営委員だけでなく、若いカフェスタッフに参加機会が生まれた ・シーニックカフェの規約案が提示された [課題] ・ミーティングの継続的な実施

基本方針		NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括		
つくり		K U	19	第2回シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年12月12日	13人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> 個々で活動しているカフェに連携する意識が生まれた 現場でしかわからない観光客のニーズ把握 運営委員だけでなく、若いカフェスタッフに参加機会が生まれた ワークショップを実施し、今後の展開を検討した シーニックカフェの規約案が検討された [課題] <ul style="list-style-type: none"> ミーティングの継続的な実施 地域のアンテナショップとするための積極的な検討 情報拠点としての充実だけでなく、個々のカフェの収益向上になるようなシステムを作らなければ、長期的な連携は難しい 		
				K U	20	木製看板の製作と掲示	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	随時		2人
		K U	18	②既存施設の質を整える シーニックカフェ広域観光情報ニーズ調査	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年9月1日	持ち帰り数： 釧路市98、阿寒湖82、弟子屈133、中標津町36、別海町50	[成果] <ul style="list-style-type: none"> シーニックカフェに共通のパンフレットラックを設置し、ルート内関係市町村のパンフレットを配置した 観光客のニーズ把握につながった(今いる観光地より次に向かう観光地上方を求めている) 他地域のパンフレット設置がおもてなし向上に繋がったとカフェスタッフから意見があった [課題] <ul style="list-style-type: none"> 次年度以降のパンフレットの継続的な供給 		
個性・強みとなる地域	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	K U	7~19	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	第5回景観づくり検討会(景観マスタープラン検討会)	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成20年2月27日	13人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> 3年間に渡り実施した、景観診断の総括を行い、次年度以降の具体的な取り組みに繋げた 景観づくりマスタープラン(骨子案)づくりを行った [課題] <ul style="list-style-type: none"> 調査期間が3年にも渡った 新たな地域資源の発掘に繋がり、観光パンフに載っていない情報提供の可能性 	【地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する】 ○方針「地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する」では、今年は今後の本格的な活動展開に向けた検討として「景観づくり検討会」を挙げることができる。また、具体のツーリズムの取り組みでは「第4回キングオブクリーンウォーク」を、また、冬季の活動として「摩周ウインターフェスタ」挙げることができる ●景観づくり検討会では、主に資源をつなぐ道づくりに関する検討が行われたが、上記の通り、今後マスタープランとして検討内容を整理し、ハードとソフトの両活動を通じた感動を提供するルートづくりを行っていく予定である。 ●キングオブクリーンウォークは今年4回目を迎え、ルート環境美化活動と観光を合わせた活動として定着してきた。しかし、今後の更なる展開を考えると、イベント実施上ではPR方法について、また、具体の取り組み上では安全面、企画自体のマンネリ化など、今後の検討事項と考える。 ●冬季の取り組みとして、今年「摩周ウインターフェスタ」をシーニック活動としても行った。冬季の地域の魅力を提供する活動には各エリアでのこれらの既存イベントが挙げられることから、次年度は各エリアのイベントをシーニックの冠の元、総合的にPRするなどの取り組みにしていきたい。
				②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	シーニックカフェ・ルート連携実施	シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部		20人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> 個々で活躍しているカフェに繋がりが出来た 連携することにより、利用者にとって有益な情報を一括で発信した 情報拠点としてのカフェの機能を高めた [課題] <ul style="list-style-type: none"> 個々のカフェの収益アップにつながるシステムの構築 連携したメニュー開発 地域のアンテナショップに向けた具体的検討 	
				K U	3	第4回阿寒摩周キングオブ・クリーンウォーク	クリーンウォーク実行委員会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、中標津町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会	平成19年9月1日	92人	

基本方針	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括
資源、や、競争力ある地域（ルートづくり） つなぎ・強	4) 各種情報を伝える・蓄える ①HP・各種広報誌等による情報提供	K U 28 摩周ウインターフェスタ'08	弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年2月9～10日	4000人	[成果] ・弟子屈の冬を楽しむ今年二回目の手作りイベント・馬車や水上綱引き、雪像づくりなど体験型メニューが豊富 [課題] ・次年度以降の継続的な実施 ・他活動団体の協力(出店など)	★今後は道づくりと各イベントなどの資源を一体的にとらえ、提供するなどの構想を検討していきたい 【各種情報を伝える・蓄える】 ○方針「各種情報を伝える・蓄える」では、ルートHP・マガジンを通じた地域情報発信、各エリアのカフェ等の情報提供、また、ルートHPでの参加型による各種情報蓄積の仕組みづくりや「懐かシーニックバネル展」の取り組みを通じた歴史情報の収集等が挙げられる ●ルートHP・マガジンを通じた地域情報発信では、年2回発行のルートマガジンも今年は実施し、新たに地域の食・水などの資源を取り上げ、情報収集と発信を行った。また、HPでは既存のエリアごとの旬な情報発信を地域ライターの方々と協働で実施した。 ●観光案内施設等での情報提供では、上記のマガジンをルートの「道の駅」他、各情報拠点で配布した。また、シーニックカフェでのカフェマップの配布や観光施設一覧をシーニックカフェに配布しシーニックカフェでの情報提供データの蓄積を行った。 ●各種情報の蓄積では、HP上において前述の「レシビ」募集の他、「おもしろお土産」の募集、またHP上での「フォトコンテスト」、また、投稿は無かったものの一般参加型の「体験日記」等の取り組みをあらたに開始した。また、懐かシーニックバネル展の取り組みでも、新たに行政から情報提供を頂くなど、徐々にではあるが、取り組みの周知とともに情報部会を中心とするこれらの取り組みも地域アーカイブ機能の成果が見られるようになってきている。 ★今後は特に地域ライターの方との連携と、HP上で地域外の方との双方向交流を積極的にを行いながら、情報収集・蓄積・発進の取り組みとルートのファンづくりを進めていきたい。
		K U 14 シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	シーニックカフェ8店舗、他全活動団体	平成19年9月20日 配布開始	5000部発行	[成果] ・地場産品を切り口に、ルート内のシーニックカフェを掲載した ・カフェスタッフが編集委員となり作成した ・カフェから歩いていける「おすすめスポット」の紹介を行い、地域を楽しめる工夫をした [課題] ・次年度以降の継続的な実施 ・配布協力機関に、積極的に趣旨説明を行う	
		K U 20 木製看板の製作と掲示	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	随時	3人	[成果] ・手作りのため、温かみのある、広報PR ・有志による趣味の範囲での製作であるが、クオリティが高い ・ルート内2箇所の空港に設置する看板を製作中 ・シーニックカフェ内にカフェの木製看板を設置 [課題] ・手作り看板のため製作者の負担が懸念	
		K U 21 H19年度ルートマガジン作成・発行(春夏号)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部、活動団体協力者	平成19年10～11月：企画、編集 平成19年12月配布	編集部員：4名+協力者	[成果] ・運営委員内担当者が、自ら取材編集を実施し、地域住民と積極的コミュニケーションを図っている ・配布協力実施依頼が、ホテルや観光案内施設より相次いでいる [課題] ・道の駅、観光案内所、レンタカー会社等、観光客の利用頻度の高い施設だけではなく、銀行や市役所など地域住民の利用施設への設置	
		K U 21 H19年度ルートマガジン作成・発行(秋冬号)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部、活動団体協力者	平成19年10～11月：企画、編集 平成19年12月配布	編集部員：4名+協力者	[成果] ・運営委員内担当者が、自ら取材編集を実施し、地域住民と積極的コミュニケーションを図っている ・配布協力実施依頼が、ホテルや観光案内施設より相次いでいる [課題] ・道の駅、観光案内所、レンタカー会社等、観光客の利用頻度の高い施設だけではなく、銀行や市役所など地域住民の利用施設への設置 ・持ち帰り数が、春夏号と秋冬号で差異が見られるため、発行部数の調整が必要	
		K U 22 ルートホームページ更新 (http://sbw.web-p.jp/)	弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、クリンウォーク実行委員会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、ボランティアネットワークチャレンジ隊、シーニックカフェバン・デ・パン、シーニックカフェ花ゆう香ラウンジ春のベンチ	通年	エリアライター：38名	[成果] ・平成19年3月現在で38名の地元ライターが活躍 ・地域住民目線の情報を発信 ・趣味、職種などライターの個性を活かした記事展開 ・記事コメントなどで、ライター通しは元より観光客との交流が生まれた [課題] ・ライターによって更新頻度が違う ・観光客にとってより有益な情報の発信	

基本方針	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
整えらるることとなる地域資源や、競争力ある地域（ルートづくり）	K U	23	ルートホームページ第1回ライターズミーティング	シーニックカフェ7店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、クリンウォーク実行委員会	平成19年6月29日	16人	[成果] <ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月現在で39名の地元ライターが活躍 ライター間での交流が生まれた タグなど、記事作成におけるweb技術の向上 アクセス解析を実施 [課題] <ul style="list-style-type: none"> ライターによって更新頻度が違う 観光客にとってより有益な情報の発信 	
			K U	14	シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	シーニックカフェ7店舗、全活動団体	平成19年9月20日 配布開始	
	K U	7～19			シーニックカフェ・ルート連携実施	シーニックカフェ7店舗、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部		
			K U	16	シーニックカフェ広域観光情報ニーズ調査	シーニックカフェ7店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年10月12日～14日	
	K U	22			ルートホームページ更新 (http://sbw.web-p.jp/)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部ほか 情報部会員およびルートホームページのライター	通年	
			K U	27	懐かシーニックパネル展	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年3月1～15日、6月11日～17日、7月22日～30日、10月6日、10月28日	

基本方針		NO	平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題	総括
地域内可能な資源循環（ルート）づくり	1) 自然と共に生きる意識を育てる	K U 26	釧路湿原音探検	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成19年 7月1日	30人	[成果] ・釧路湿原自然再生普及計画のプログラムとして実施した ・小型集音機を使用し、「音」という視点で湿原を楽しんだ ・子供から大人までが夢中になった	【自然と共に生きる意識を育てる】 ○方針「自然と共に生きる意識を育てる」では、子供を対象とした「釧路湿原音探検」、摩周での観光交通実験が挙げられる ●「釧路湿原音探検」では主に子供を対象とした地域（環境）教育としての成果があった。また、観光交通実験では摩周湖の純度の高い自然環境を多くに観光客に伝えることができた ★上記の2つの取り組みは今後も継続して行っていきたい。特に子供に対する環境教育では当該ルートが特に自然環境に関する資源が豊富である地域特性を活かし、既存の様々な団体が取り組む環境を知る取り組み等をシーニックバイウェイの冠のもと、多くの子供と学習する機会を地域の教育機関とも連携しながら取り組んでいきたい。また、摩周湖社会実験の取り組みは今年度の実験であったが、摩周湖を保全する取り組みとして次の展開として考えていきたい。また、他のエリアにおいても地域ならではの純度高い自然環境があることから、広く観光客にも自然環境を伝える取り組みを展開していきたい
							[課題] ・積極的なイベント周知 ・開催回数の増加	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	K U 29	摩周・屈斜路 環境にやさしい観光交通実験に関する取り組み	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年 6月11日～19日、 9月22日～ 10月12日	計測不可能	[成果] ・摩周湖のマイカー規制を行い、自然環境と観光と地域社会の共生について検討した ・無料レンタサイクルを実施し、弟子屈市街散策の仕組みづくり	
							[課題] ・町と施設管理者との連携が上手に取れておらず、様々な料金を請求されるなど、問題点が明らかになった ・継続的な観光交通実験の実施	
	2) 自然を保護・育成する仕組みをつくる	K U 29	摩周・屈斜路 環境にやさしい観光交通実験に関する取り組み	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年 6月11日～19日、 9月22日～ 10月12日	計測不可能	[成果] ・摩周湖のマイカー規制を行い、自然環境と観光と地域社会の共生について検討した ・無料レンタサイクルを実施し、弟子屈市街散策の仕組みづくり	
							[課題] ・町と施設管理者との連携が上手に取れておらず、様々な料金を請求されるなど、問題点が明らかになった ・継続的な観光交通実験の実施	
K U 10	[カフェ④]シーニックカフェ ホームスイートホーム	弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成19年 4月28日～ 10月31日	月約200名	[成果] ・エゾ鹿バーガーの収益の一部は、摩周湖の植樹活動に寄与させる			
					[課題] ・積極的な広報PR ・他のシーニックカフェでも同様の取り組みの実施			

[ルート名称] 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

[報告者] ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄

[報告年月] 2008/3/31

基本方針		NO		平成19年度の活動内容	活動団体	実施日	参加人数	成果及び課題		総括
③循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	K	U	18	第1回シーニックカフェスタッフミーティング シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年12月12日	13人	[成果]	・地域のアンテナショップとしての展開に向けた積極的な検討の場になった ・共通のグッズ販売やメニュー開発などの意見あった	【循環型社会のビジネスモデルを育てる】 ★方針「循環型社会のビジネスモデルを育てる」では、カフェでの検討とルートHP更新を“間接的には該当する取り組み”としてあげた。しかし、当該方針に直接該当する取り組みとは言い難く、次年度に向けては、真にシーニックバイウェイの取り組みから生まれた、コミュニティビジネスを育てる取り組み、また、地域経済循環の仕組みの一翼となる取り組みを検討し、実施していきたい。本年はカフェでの各種取り組みを得に力を入れて行った。また、これにより、観光客のニーズなど新たに把握することもできたが、これらの結果も活かしながら、地域景観・環境保全などの大テーマに即した取り組みに発展させていきたい。具体的には、継続となる今年のカフェの取り組みの他、地域景観を活かした観光(ツアー)などを地域独自で展開できればと考えている。
								[課題]	・地域性、収益性、独自性、継続性のある商品開発を検討	
	②地域経済循環の仕組みを創る	K	U	19	第2回シーニックカフェスタッフミーティング シーニックカフェ8店舗、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成19年12月12日	13人	[成果]	・地域のアンテナショップとしての展開に向けた積極的な検討の場になった ・共通のグッズ販売やメニュー開発などの意見あった	
								[課題]	・地域性、収益性、独自性、継続性のある商品開発を検討	
	K	U	22	ルートホームページ更新 (http://sbw.web-p.jp/)	ボランティアネットワークチャレンジ隊、弟子屈町商工会、中標津町商工会青年部ほか 情報部会員およびルートホームページのライター	通年	エリアライター:38名	[成果]	・ユーザー(HP閲覧者)と地域の双方向交流の可能性を検討するため、4本の参加型企画を実施した ・双方向交流のための道筋ができた	
								[課題]	・今後の有益な展開方法の検討(ウェブアンケートや写真データ蓄積、マーケティング等)	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ～Clear Stream Scenic Byway～)

		[報告者] 釧路開発建設部				[報告年月] 2008/3/31		
基本方針		平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
個性・強みとなる地域資源や、競争力ある地域エリアを（ルートづくり）	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	① まちを知る・人を知る	—				<p>【景観診断】 ・ルート計画方針1に該当するH19年度の行政事業は、活動団体が実施する景観診断に釧路開発建設部他、多数の機関も参加したことが挙げられる。地域団体が考える景観の良いところなど、景観づくりの意向を把握することにもつながった。なお、今年の景観診断の取り組みは一過性のもので無く、景観マスタープランの作成に向けた基礎調査という位置づけでの実施とのこと、今回の調査結果を含む景観マスタープランはH20年6月の行政連絡会議(本会議)に紹介予定とのことであり、過年度調査結果も含めたルートの景観づくりに関する地域意向が集約した物として、今後の景観づくり関連事業にも活かして行きたいと考えている。</p> <p>【団体事業への協力】 ・ルート代表者会議では、地域の歴史を知る・活かす取り組みとして、地域の歴史に関する写真等の収集とパネル展での活用を昨年度から行っている。これらの取り組みには、行政連絡会議としても行政アクションプログラム内で協力していくと位置づけているが、今年度は釧路開発建設部では、幣舞橋の写真を始め、釧路管内の道に関する既存資料を提供したところである。また、弟子屈では、まちの歴史資料編纂時に集めた写真をルート代表者会議に提供している他、根室支庁、釧路市、中標津町においても、パネル展の会場提供など、ルート活動への協力を行った。今後も資料収集は行うとのことであり、行政連絡会議内でも引き続き協力していきたい。</p> <p>・その他、ルートからの要請で弟子屈のウィンターフェスティバルに弟子屈道路事務所が雪像づくりで協力したとのことである。行政連絡会議事務局として把握していない地域活動団体が実施する地域イベント等への協力は他にも多々あると思うが、今後とも更なる協力を行いたいと考えている。</p>	
		② 自然環境を知る・活かす	—					
		③ 景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	第3回景観づくり検討会(釧路湿原エリア景観診断)	釧路支庁(地域振興部地域政策課)、釧路市(企画財政部企画課)、釧路開発建設部	平成18年10月13日	6名		・釧路湿原エリアの景観診断での各景観ポイント等での改善案・意見の提示 ・診断後のワークショップへの参加と景観改善に向け積極的意見提供
			第4回景観づくり検討会(阿寒湖エリア景観診断)	釧路市(阿寒町行政センター)、環境省阿寒湖自然保護官事務所、釧路支庁(建設指導課)、釧路開発建設部(道路1課)、釧路開発建設部(弟子屈道路事務所)	平成19年11月7日	8名		・阿寒湖エリアの景観診断での各景観ポイント等での改善案・意見の提示 ・診断後のワークショップへの参加と景観改善に向け積極的意見提供
		④ 温泉を知る・活かす	—					
	⑤ 体験活動を知る・活かす	—						
	2) 食を知る・活かす	① 地場産品を知る・伝える	—					
		② 新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	—					
	3) 文化や歴史を知る・活かす	① 地域の各種文化を知る・活かす	摩周ウインターフェスタ'08	弟子屈町、釧路開発建設部(弟子屈道路事務所)	平成20年2月9日～10日	7名		・摩周ウインターフェスタ'08の実行に全面的な協力(弟子屈町) ・会場である営林署跡地など、町管理用地の提供(弟子屈町) ・雪像づくり等への参加(釧路開発)
		② 地域の歴史を知る・活かす	懐かシーニックパネル展	釧路市(阿寒町行政センター)、釧路支庁、弟子屈町、中標津町、釧路開発建設部	H19年3月1～15日他、各地域4回開催	6名		・写真提供の他(釧路市、釧路開発)、パネル展の会場の提供等で協力 ・町の歴史に関する写真の提供(弟子屈町)

基本方針		平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
個性・強みとなる地域資源や競争力ある地域（ルートづくり）	1) 地域と資源をつなぐ“道（沿道景観）”を整える	阿寒・摩周・中標津リレー清掃 摩周クリーンウォーク	弟子屈町（主催）、釧路開発建設部	平成19年 6月2日	8名	・弟子屈町主催のイベントで主催者の意向から、ウォーキング（観光振興）と絡めた企画への発展があった ・釧路開発建設部からは活動参加による人的支援の他、軍手等の支給支援がなされた	【沿道景観美化活動】 ・ルート計画方針2に該当するH19年度の行政事業は、前記の景観診断の他、活動団体が実施する各地の沿道景観美化活動が挙げられる。これらは昨年度から引き続き実施されているものも多く、今後も活動団体が主体として継続できるよう、行政連絡会議としても協力していきたい。また、開発局ではVSPもあるので、既存の団体の他、植栽活動意向がある団体・地域にも協力していきたいと考えている。	
		阿寒・摩周・中標津リレー清掃 中標津清掃奉仕活動（H19年度）	中標津町	平成19年 7月22日	10名	・中標津町主催の清掃活動へ中標津町商工会青年部も参加し、連携して実施 ・当日の運営等		
		第4回阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク	釧路支庁、弟子屈町、釧路市、環境省釧路自然環境事務所、釧路開発建設部、釧路開発建設部弟子屈道路事務所	平成19年 9月1日	15名	・釧路支庁長をはじめ、各機関から多数の参加協力 ・各機関窓口等での当日PR等の協力 ・釧路開建弟子屈道路事務所からは軍手、ゴミ回収等を協力		
		花いっぱい活動団体交流会	釧路開建、弟子屈町、釧路市（阿寒町行政センター）	平成20年 3月7日	3名	・各機関から交流会に参加、交流会内での積極的な意見交換		
	②物語のあるみちをつくる	第3回景観づくり検討会（釧路湿原エリア景観診断）	釧路支庁（地域振興部地域政策課）、釧路市（企画財政部企画課）、釧路開発建設部	平成18年 10月13日	6名	・釧路湿原エリアの景観診断での各景観ポイント等での改善案・意見の提示 ・診断後のワークショップへの参加と景観改善に向け積極的意見提供		
		第4回景観づくり検討会（阿寒湖エリア景観診断）	釧路市（阿寒町行政センター）、環境省阿寒湖自然保護官事務所、釧路支庁（建設指導課）、釧路開発建設部（道路1課）、釧路開発建設部（弟子屈道路事務所）	平成19年 11月7日	8名	・阿寒湖エリアの景観診断での各景観ポイント等での改善案・意見の提示 ・診断後のワークショップへの参加と景観改善に向け積極的意見提供		
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	第1回シーニックカフェスタッフミーティング	釧路開発建設部（道路1課）	平成19年 6月29日	1名		・一般のHPライターとして参加、今後のカフェの取り組みについて積極的な意見交換
			第2回シーニックカフェスタッフミーティング	釧路開建（弟子屈道路事務所）	平成19年 12月12日	1名		・一般のHPライターとして参加、今後のカフェの取り組みについて積極的な意見交換
	②既存施設の質を整える	[カフェ①]シーニックカフェ開陽台牧場2007	中標津町、釧路土木現業所	平成19年 7月22日～29日 (12:00～16:30)	5名	・開陽台牧場の場所の提供及び開催準備協力（中標津町） ・各機関窓口等でのPR、広報周知の協力（中標津町、根室支庁、釧路開建） ※中標津町商工会青年部との協働によるゴミ拾いを実施予定であったが、天候が悪く中止（釧路土木現業		
		3) 地域の魅力（資源）をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力（景観）をつないだ感動ドライブコースの提供	—				
②地域の魅力（体験）をつないだ道東ツーリズムの提供	—							
①地域の魅力（景観）をつないだ感動ドライブコースの提供	広報紙などへのルート関係情報の掲載	釧路市、中標津町、釧路開発建設部			3名	釧路市（市広報紙：平成20年1月号）、中標津町（町広報紙：平成19年12月号）、釧路開発建設部（釧路開発建設部道路施策の取組み紹介：みちづくりを通じた新たな未来）、釧路開発建設部（せんけんフォーサイト・2007年度版）		
	ラムサール観光レシピへのルート情報の掲載	釧路市		配布中	1名	・釧路湿原国立公園指定20周年記念事業の一環として出版された「ラムサール観光レシピ（観光系ガイドブック）」に、ルート情報を掲載（釧路市）		

基本方針		平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
個性・強みとなる地域資源や、競争力ある地域（ルートづくり）	①HP・各種広報誌等による情報提供	ルートホームページ更新 (http://sbw.web-p.jp/)	根室支庁、釧路土木現業所、釧路市、弟子屈町、釧路開発建設部、釧路開発建設部(弟子屈道路事務所)、釧路開発建設部(中標津道路事務所)	H19年度内	7名	・各機関のHPにバナーの張り付け等での相互リンクに協力 ※釧路市(釧路市観光情報(釧路という異国):バナー設置)、弟子屈町(トップページ:バナー設置)、釧路土木現業所(トップページ:バナー設置)、釧路開発建設部(道路情報のページ:バナー設置)、釧路開発建設部 弟子屈道路事務所(トップページ:バナー設置)、釧路開発建設部 中標津道路事務所(トップページ:バナー設置)、根室支庁(観光ページのトピックス:フォト	【団体活動のPR】 ・その他では、釧路シーニックで実施しているカフェの取り組みへの協力として団体が作成したPRチラシ等の配布などで協力した。今年では実施エリアも増えたことで、釧路市(阿寒町)、弟子屈町などでも行政施設窓口や各種の観光拠点等で協力したとのことである。 ・また、釧路シーニックは独自のHPも持っているが、行政連絡会議でもルートの要望に応じて釧路開発建設部他、各機関ともバナーによるリンクでHP連携をしている。なお、事務局である釧路開発建設部が中心となり、今年では行政連絡会議でもHPを立ち上げた。なかなか情報は思ったように集まっていなかったが、今後も情報提供での協力など簡易な連携は積極的に行っていきたい。
		ルート運営行政連絡会議ホームページ立ち上げ (http://sbw-gyosei.web-p.jp/)	全構成機関	H19年度内	19機関	・行政連絡会議HPを全機関の協力のもと立ち上げる。また、掲載情報等は少ないが、地域との連携活動情報などを発信するサイトとして発展させていく予定	
	②観光案内施設等による情報提供	台湾高雄「釧路観光物産展」におけるPRブースの設置	釧路空港国際化推進協議会(釧路市)	平成20年1月24日～2月3日	3名	・釧路空港国際化推進協議会(釧路市観光推進室(ほか)の呼びかけにより、台湾高雄で開催する展示会でシーニックブースを設置	
		H19年度ルートマガジン作成・発行(春夏・秋冬号号)	全構成機関	平成19年10～11月:企画、編集平成19年12月配布	19機関	・全構成機関とも、各窓口等でのPR・広報周知に協力	
		[カフェ①]シーニックカフェ開陽台牧場2007	中標津町、釧路土木現業所	平成19年7月22日～29日(12:00～16:30)	5名	・開陽台牧場の場所の提供、及び開催準備協力(中標津町) ・各機関窓口等でのPR、広報周知での協力(中標津町、根室支庁、釧路開建) ※中標津町商工会青年部との協働によるゴミ拾いを実施予定であったが、天候が悪く中止(釧路土木現業所)	
		シーニックカフェめぐりマップの作成・配布	全構成機関	平成19年11月15日～20日	19機関	・全構成機関で、取り組み実施前の広報周知に協力。 ・釧路開建は視察者等への配布による調査協力	
		カフェスタンプラリー“おいしくスタンプラリー”	全構成機関	平成19年11月15日～20日	19機関	・全構成機関、取り組み実施前の広報周知に協力。 ・釧路開建は視察者等への配布による調査協力	
		シーニックカフェ広域観光情報ニーズ調査	全構成機関	平成19年11月15日～20日	19機関	・全構成機関で、取り組み実施前の広報周知に協力。 ・釧路開建は視察者等への配布による調査協力	
		シーニックカフェ・観光案内所一覧表の配布	全構成機関	平成19年11月15日～20日	19機関	・全構成機関で、取り組み実施前の広報周知に協力。 ・釧路開建は視察者等への配布による調査協力	
		観光キャンペーンの提案	提案/根室支庁[連携機関]北海道	※継続検討事項	—	・北海道さっぽろ「食と観光」情報館(愛称:キタベル、JR札幌駅の西コンコース北口)における観光キャンペーンの提案(根室支庁) ・シーニックカフェ開陽台牧場のPRを兼ねての観光キャンペーンを想定したが、会場の調整が付かず断念。	
③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	懐かシーニックパネル展	釧路市(阿寒町行政センター)、釧路支庁、弟子屈町、中標津町、釧路開発建設部	H19年3月1～15日他、各地域4回開催	5名	・写真提供の他(釧路市、釧路開建)、パネル展の会場を提供等で協力 ・町の歴史に関する写真を提供(弟子屈町)		

4)各種情報を伝える・蓄える

[報告者] 釧路開発建設部

[報告年月] 2008/3/31

基本方針		平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
持続可能な資源循環（ルート）づくり	1) 自然と共に生きる意識を育てる	① 地域(こども達)への環境教育	—				【協働での社会実験】 ・ルート計画方針3に該当するH19年度の行政事業は、弟子屈エリアとの協働事業としての社会実験が挙げられる。これは、摩周湖世界遺産登録実行委員会の以前からの構想にあった、摩周湖の環境保全(Co2削減)の取り組みとして摩周湖への車の乗り入れ禁止にとりもなう、代替交通(バス)の可能性に関する実験で、北海道運輸局と弟子屈町が協働で調査を行っている。また釧路開発建設部も観光客の街中散策移動での自転車活用に関するコース調査・検証を行った。なお、活動団体は実験に合わせ、歴史写真のパネル展やカフェの設置など、実験期間内に各種の連携事業を行っている。Co2削減等の環境保護の取り組みは行政機関としても積極的に行っていかねばならない事業でもあるため、今後も地域との協働は積極的に行って行きたい。
		② 来訪者(観光客)へのインタープリテーション	木製看板の製作と掲示	釧路市、中標津町、釧路開発建設部	—	3名	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	① 自然を守るルールをつくる	—				
		② 自然を保護・育成する仕組みをつくる	観光交通社会実験連携企画	弟子屈町、北海道運輸局、釧路開発建設部	平成19年 6月11日～17日	8名	
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	① コミュニティビジネスを育てる	—				
		② 地域経済循環の仕組みを創る	—				

4. 審査委員会意見に関する報告

・釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ～Clear Stream Scenic Byway～

[ルート名称] 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	[報告者] ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄 / 釧路開発建設部	[報告年月] 2008/3/31
------------------------------	------------------------------------	------------------

審査委員会意見	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート運営代表者会議の報告	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 行政連絡会議の報告	備考
<p>景観への取り組み・景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出</p>	<p>・景観への取り組みでは、昨年から引き続き沿道景観の美化活動を実施した。また、一昨年の中標津エリアに始まり、3か年に渡る景観診断を実施、今年は「釧路湿原エリア」「阿寒湖エリア」で実施し意識向上の取り組みを実施した。 ・コミュニティビジネスの創出の取り組みでは、地域景観及び地域食材を活用したシーニックカフェをエリア連携のもと7カ所で開催し、釧路ルート独自の広域的なコミュニティビジネスの展開の兆しが見えた ・次年度も引き続き、景観づくりをはじめ、コミュニティビジネス創出につながる取り組みを実施していきたい</p>	<p>【景観への取り組み】 ・ルートが実施する沿道景観美化活動への参加・協力の他、今年も該当するエリアでの景観診断に行政連絡会議としても多数の機関が参加し検討を行う。 【コミュニティビジネスの創出】 ・ルートが実施するカフェの取り組みへの支援として、各機関とも広報・PR活動を行う ★次年度もルートでの上記取り組みに対し、連携・協力していきたいと考える</p>	
<p>持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用</p>	<p>・今年度はルート計画に沿った各種活動の実施にとどまっているが、次年度は、景観づくりの取り組みから、現在作成中の景観づくりマスタープランを元とした活動を実施していきたい ・そのためには、単なる方針の羅列にとどまらない、目標(項目によっては数値目標)等もプラン内に位置づけるなど、行政や地域住民とも内容を共有しながら実行していきたい ・観光、地域づくりについてはそれぞれ、次年度の取り組みを推進プランとして検討中である。景観と同様に目標も明確にしながら、行政や地域住民とも内容を共有しながら実行していきたい。 ・外部評価やアドバイザーの採用については、上記の取り組みによる準備を整え、以降検討していきたい。</p>	<p>【持続性の確保】 ・ルート運営活動計画の協力、支援を目的とする、行政連絡会議の計画として、昨年「行政連携アクションプログラム」を作成した。今年度もルート計画との整合を図りながら、プログラムに沿った連携活動を実施していきたいと考える</p> <p>【外部評価やアドバイザーの採用】 ・今後検討していきたい</p>	
<p>自然に与えられた景観の活用に加え、まちなかの建物・看板等の規制や指導などの検討</p>	-	-	
<p>地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保</p>	<p>・今年度は冬季の取り組みとして、イベントを行ったが、地域特性(雪・寒さ)を活かしたイベントは各エリアで実施されていることもあり、釧路シーニックとして、既存の冬季イベントとの連携体制を創るなど、次年度は冬季活動にも力を入れていきたい。また、各エリアとも共通する資源として温泉があることから、前記の取り組みに温泉活用なども絡めた展開を検討していきたい ・今年度、中標津エリアにおいて、雄大な牧場景観や自然地域を活かす取り組みとしてウォーキングの調査検討が行われた。これらの結果、次年度は中標津～弟子屈間のウォーキングルートづくり検討など、エリア連携の取り組みを検討している。車で見る観光の他、歩く速度と視点で地域の景観や自然に触れる観光についても実行していきたい。</p>	<p>【地域特性の活用】 ・行政連絡会議としてもルートでの地域特性の活用となる取り組みに、情報提供や既存事業での連携などをつづき取り組んでいきたいと考える</p>	
<p>シーニックバイウェイルート全体に対する意見</p>	<p>・今年度の取り組みではシーニックカフェやHP更新の取り組みで団体の枠を超えた地域人材との連携がスタートした。 ・カフェミーティングは今後も参加者の輪を広げ、地域の情報拠点として、また地域のアンテナショップとして、食や観光の取り組みなど具体的なテーマをもとに、検討する場としていきたい。 ・HPライターズミーティングも同様に、地域情報の収集する仕組みにとどまらず、シーニックの活動への共感の輪を広げる場として取り組んでいきたい ・また、観光拠点窓口連携の取り組みである「スマイルネット」の取り組みも次年度は仕組みが充実しつつあるルートHPと連動しながら取り組んでいきたい</p>	<p>【ホスピタリティ向上】 ・行政連絡会議では釧路ルートが実施する。「スマイルネット」の取り組みに参加・協力してきた。今後も各観光拠点窓口の担当者も参加し、観光窓口でのホスピタリティ向上の取り組みを行っていきたいと考える。</p>	
<p>ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成</p>			

審査委員会意見		釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ルート運営代表者会議の報告	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ 行政連絡会議の報告	備考
全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・釧路ルートではルートHPの多国語化に現在取り組んでいる。平成20年のサミットに向け、まずはルート情報の発進から取り組んでいく。また、今年度の推進プログラム内に“海外観光客への安心の情報提供”を位置づけ、前記のHP他、情報拠点での海外観光客対応等にも取り組んでいく予定である ・旅行会社等の民間企業との連携については、ルート内でも重要な検討事項に挙げられている。まずは各ルートのおすすめ箇所などの情報を再整理し、旅行商品としての企画づくりから検討していきたい。 	<p>【全国・世界への情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行政連絡会議のHPを立ち上げた、次年度も引き続き情報収集と発信に取り組んでいきたいと考える。 ・今年度はルートと連携した広域マップの作成について検討を行った。具体的に作成までは至らなかったものの、より、情報共有など協働での取り組みを進め、行政連携による情報発信を行っていききたいと考える。 	
	開かれた運営体制：継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのルート活動を通じルート・エリアの運営体制が固まりつつある、今年も前記の通り、カフェやライターなど新たな参加者加をえルートでの取り組みを展開してきたが、次年度は新たな団体の参加等も検討していきたい。しかし、ルート運営組織もルート運営活動計画に示す体制図の通り実行できつつあるが、広域な地域特性の中で試行錯誤しながら現在の体制として定着してきた段階でもあるため、新たな団体の募集に関しては円滑な運営体制(準備)を整えたい実行したいと考えている。 	<p>【開かれた運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の行政連絡会議では、6月の本会議においても、担当者会議においても、ルートの活動団体の中心者が参加するなど、開かれた検討の場として会議運営を行っている。次年度も団体等の参加も得ながら、開かれた議論の場としていきたいと考える。 	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史、文化、レクなどの地域資源情報を今年積極的に収集した。当ルートではルート運営活動計画の中でも「地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供」を活動方針にたてていることから、これらの情報をもとに、新たなツーリズムの展開を図っていききたいと考えるが、次年度はまず、釧路ルート独自のニーズ調査も行い、各種資源を活かしたツーリズムをどのように展開するか?等を検討するなど、準備の年にしていききたいと考える。 	<p>【新たなツーリズムの展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政連絡会議では、前記の各種情報収集等を始めたところであるため、ルートと連携しながら、特定テーマの資源情報の提供などを通して、新たなツーリズムの展開に向けた取り組みをしていききたいと考える。 	
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイに対する意見	自然資源の保護・調和、市街地部とその周辺の近景・中景の景観の改善等に取り組んでいく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在検討中の景観づくりマスタープランは主に沿道景観の保全活用、また、景観資源箇所の活用に関するプランとして検討してきた。面としての自然資源の保護や、市街地部とその周辺の近景・中景の改善となると、各市町村の土地利用にも関ってくることから、景観マスタープランをもとに、各関係行政機関との連携(各機関の景観・土地利用計画上での連携も考慮)しながら、取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は阿寒湖エリアにおける社会実験に続き、今年度は弟子屈町、運輸局、また釧路開発建設部と弟子屈エリア団体との協働で、摩周湖での観光交通に関する社会実験を行った。自然環境の演出とは異なるが、これらの地域住民による主体的な地域保全の意向を元とした、地域の神秘的な自然の保全活動など、当該ルートの行政としても地域連携で今後とも取り組んでいきたいと考える。 	
	アイヌ文化など、当該地域のもつ神秘性のある歴史・文化・自然を活用した演出など、新しい取り組みにも期待したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動では摩周湖社会実験など、特に神秘性を有する自然資源の保全を対外的にもPRできるような実験として実行した。今後も神秘性のある自然の保全というキーワードのもと、摩周湖の自然・環境保護と観光地としての共生の他、阿寒湖や釧路湿原での取り組みについても検討・実行していきたい。 		
	特にエリアが広大であることから、活動団体同士や行政、地域住民等と一層連携した取り組みが必要であるとともに、機動力のある十分な体制の運営が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路ルートの運営体制は、ルート全般に関わる運営に関する検討体制として「幹事会・ルート運営委員会」を、また各分野ごとの取り組みについて具体的内容検討では「景観まちづくり」「観光交流」「情報広報」の3部会を設け、各部長を中心として取り組んできた。また、幹事会や部会でできた取り組みのうち、各エリアでの実施する内容については各エリアごとの運営委員会を組織し運営している。以上大きく3つのセクションで進めているが、運営、活動内容検討など、滞ることなく進めることができている。次年度は主要な活動を景観関連で7本、また、観光・情報で6本の推進プログラムを設定し、実施準備を進めている。現状では各部会が推進することとしているが、内容によっては各分野をまたぐ活動もあることから、新たにプロジェクト制等も検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路ルートでは行政連絡会議(本会議)の他、行政担当者連絡会議を組織し、担当者間での行政連携活動を検討する体制が整った。今年度は行政連絡会のHPを立ち上げ、地域資源写真等の収集など、まずは情報収集の取り組みからスタートしている。今年度はルートで13の推進プロジェクトの実施が決まったとのことであり、行政連絡会議でも担当者会議での具体の調整、及び本会議での広域行政連携のオーソライズを図りながら、広大な地域での円滑な連携を図っていききたいと考える。 	